

∴PRO

取扱説明書 設置・設定編

マルチ AI ソフトウェア

品番 WV-ASA100UX、WV-ASA100WUX

機能拡張ソフトウェア

品番 WV-ASE335WUX



CONTENTS

1. はじめに	4
1.1. 著作権について	4
1.2. 商標および登録商標について	4
1.3. 略称について	4
1.4. 免責について	5
1.5. ネットワークに関するお願い	6
1.6. 注意事項	7
2. システム概要	9
2.1. システム概要	9
2.2. ソフトウェア構成と対応バージョン	10
3. システム設計	13
3.1. システム構成	13
3.1.A WV-ASA100 を専用の PC ヘインストールする場合	13
3.1.B WV-ASA100 を WV-ASM300 と同じ PC ヘインストールする場合	14
3.2. システム要件	15
3.2.1 WV-ASA100 システム要件	15
3.2.2 WV-ASE335 要件	17
3.3. システム構成の決定方法	18
3.4. WV-ASA100 の使用ポート	21
4. インストールと初期設定	22
4.1. WV-ASA100 のインストールと初期設定	22
4.1.1. WV-ASA100 のインストール	22
4.1.2. WV-ASA100 の初期設定	25
4.1.3. プロセスの再起動	32
4.1.4. 確認	33
4.1.5. システム設定変更 (任意)	34
4.1.6. アラーム通知設定 (任意)	39
4.1.7. 統計情報表示の設定 (任意)	43
4.1.8. その他の状態表示・制御機能(任意)	45
4.1.9. Windows の設定	50
4.2. WV-ASE335 のインストールと初期設定	52
4.2.1. WV-ASE335 のインストールとライセンス登録	52
4.2.2. WV-ASA100 との接続設定	54
4.2.3. ユーザー権限設定 (任意)	55
4.2.4. 確認	56
4.3. WV-ASA100 のバージョンアップ	57
4.4. WV-ASE335 のバージョンアップ	58

5. システム構成の変更	61
5.1. カメラ、レコーダーの追加	61
5.1.1. カメラ追加	61
5.1.2. レコーダーの追加	61
5.2. カメラ、レコーダーの削除	62
5.2.1. カメラの削除	62
5.2.2. 登録カメラの一時的な無効化	63
5.2.3. レコーダーの削除	64
5.3. カメラ情報の更新	65
5.3.1. カメラおよび拡張ソフトウェアの設定更新	65
5.3.2. 拡張ソフトウェアの設定更新	66
5.4. アンインストール	67
5.4.1. WV-ASE335 のアンインストール	67
5.4.2. WV-ASA100 のアンインストール	67
5.5. IP アドレス変更	69
5.5.1. カメラの IP アドレス変更	69
5.5.2. レコーダーの IP アドレス変更	69
5.5.3. WV-ASA100 の IP アドレス変更	70
5.6. データのバックアップとリストア	71
5.6.1. バックアップ手順	71
5.6.2. リストア手順	73
5.7. WV-ASA100 の管理者アカウントのリセット	75
5.8. SQL server Standard Edition へのアップグレード	76
6. トラブルシュート	79
6.1. インストール・初期設定時	79
6.2. 運用開始後	82
7. その他	84
7.1. オープンソースソフトウェア	84

1. はじめに

1.1. 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

1.2. 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Xeon は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- NVIDIA、NVIDIA のロゴは、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1.3. 略称について

本書では以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® を Windows と表記しています。

1.4. 免責について

本製品は、ネットワークカメラで撮影された画像から、特徴情報および画像をデータベースに蓄積し、本製品に対応したクライアント端末またはシステムからの操作により特定の人や顔の検索／照合、および統計情報を表示する目的で作られています。本製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ PC に保存された画像データ、音声データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど
- ⑤ ネットワーク上からの不正アクセスなど悪意を持った第三者による画像データ、音声データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）の漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど
- ⑥ お客様による監視画像・記録が何らかの理由（ユーザー認証 OFF での使用を含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

1.5. ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本商品を經由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本商品の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ・ ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- ・ コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- ・ 不正な攻撃から守るため、ユーザー認証を利用し、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- ・ 管理者で本商品にアクセスしたあとは、必ずすべてのウェブブラウザを閉じる。
- ・ 管理者のパスワードは、定期的に変更する。また、認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- ・ 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

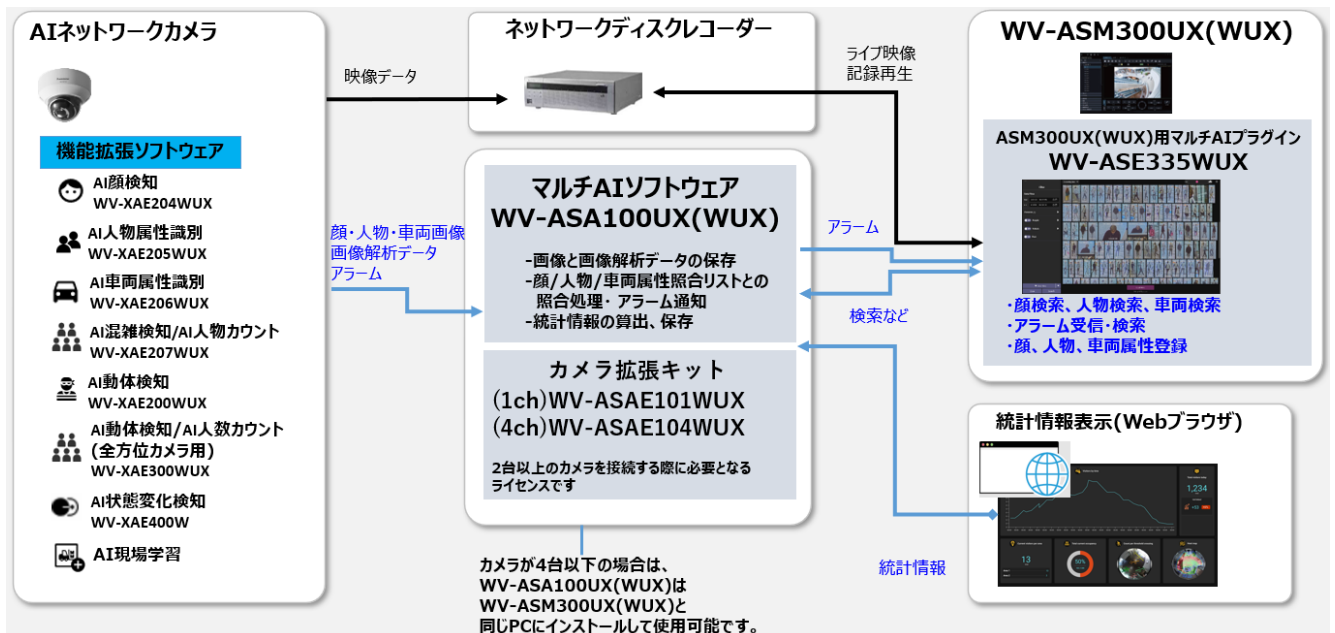
1.6. 注意事項

- ・ カメラ、レコーダー、クライアントソフトウェア、I/O 装置、Windows、データベースなどの認証情報は、第三者への漏えいがないように、管理者が適切に管理してください。
- ・ カメラ、レコーダー、クライアントソフトウェアなどのパスワードは、初期値から必ず変更し、適切な管理をおこなってください。
- ・ パスワードを入力する際は、背後からののぞき込みなどに注意してください。
- ・ 認証情報は、各ユーザーごとに設定し、共用しないようにしてください。
- ・ ユーザーのアクセス権限は、適切なものを設定してください。
- ・ ログインしたまま放置することで第三者から意図しない操作をされないように、オートログアウト機能などを用いて適切なログイン管理をするようにしてください。
- ・ アプリケーションをダウンロードする際は、公式のサイトからダウンロードをするようにしてください。
- ・ 出力機能を用いて出力したデータは、第三者への漏えいがないように、管理者が適切に管理してください。
- ・ PC を修理、廃棄、譲渡する場合は、HDD などに情報が残っている場合がありますので、HDD を物理的に破壊するなど、適切な方法での管理をしてください。また、外部メディアを用いている場合は、事前に取り出し、第三者への漏えいがないように管理してください。
- ・ 認証情報が不明の場合は、初期化の必要があります。認証情報は、管理権限のある人だけが閲覧できる場所などに、適切に保管してください。
- ・ システムの設定データは、定期的にバックアップをとり管理しておくことを推奨します。
- ・ カメラ、レコーダー、PC など、システム内の機器は NTP サーバーなどを用いて時刻を合わせるようにしてください。
- ・ お客様が準備したサーバー証明書については、お客様ご自身での有効期限の適切な管理をお願いします。
- ・ Windows は、最新のセキュリティパッチを適用するようにしてください。また、環境に応じて適切な Windows の設定をお願いします。
- ・ 本システムでは、HTTPS による通信、および保存データの暗号化機能はデフォルトオフになっています。お客様の環境に応じて設定を有効にしてお使いください。

- ・ 強制シャットダウン/停電や電源の瞬断によるシステムの停止/システムクラッシュにより、データベースが破損する恐れがあります。その場合、本ソフトウェアが起動しなくなる、検索ができない、アラーム通知されない、顔登録ができない、統計情報が更新されない、などの現象が発生する場合があります。破損したデータは復元できませんので、電源断に対するUPSの設置を強く推奨します。

2. システム概要

2.1. システム概要



AI ネットワークカメラは、映像データをネットワークディスクレコーダーへ伝送します。カメラの AI 機能または機能拡張ソフトウェアによって解析された顔、人物、車両画像や画像解析データは WV-ASA100UX(WUX) (以降、WV-ASA100) に保存されます。

WV-ASA100 はこれらのデータを保存し、また、登録されている顔、人物、車両属性との照合を行います。

WV-ASM300 シリーズ (以降、WV-ASM300) にインストールされた WV-ASE335WUX (以降、WV-ASE335) は、顔・人物・車両画像データの検索や、アラームの受信・検索、また顔、人物、車両照合リストの登録を行います。

画像解析データの各種統計情報が WV-ASA100 で算出・保存され、Web ブラウザーで表示することができます。

2.2. ソフトウェア構成と対応バージョン

カメラの AI 機能・機能拡張ソフトウェア

- AI 顔検知アプリケーション(WV-XAE204W): V1.11 以上
顔画像の検索、顔照合アラーム、年齢性別の統計情報が使用できます。
- AI 人物属性識別アプリケーション(WV-XAE205W): V1.11 以上
人物画像の検索、人物属性照合アラーム、人物属性の統計情報が使用できます。
人物属性を画像から自動で検出する機能を使用するためには V1.40 以上が必要です。
- AI 車両属性識別アプリケーション(WV-XAE206W): V1.11 以上
車両画像の検索、車両属性の統計情報が使用できます。
人物属性を画像から自動で検出する機能を使用するためには V1.40 以上が必要です。
- AI 混雑検知/AI 人物カウントアプリケーション(WV-XAE207W): V1.60 以上
AI 混雑検知アラームが使用できます。
- AI 動体検知アプリケーション : V2.00 以上
AI 動体検知アラームが使用できます。
人数カウント/車両カウント機能を使用するためには V3.00 以上が必要です。
カメラに設定されているライン名称を表示するためには V3.20 以上が必要です。
- AI 音識別: カメラの機能です。AI 音識別アラームが使用できます。
- AI 動体検知/AI 人数カウントアプリケーション(全方位カメラ用): V1.21 以上
AI 動体検知アラーム、AI 混雑検知アラーム、人数カウント/ヒートマップ/統計情報が使用できます。
カメラに設定されているエリアライン名称を表示するためには V1.50 以上が必要です。
- AI 状態変化検知アプリケーション(WV-XAE400W): V1.00 以上
AI 状態変化検知アラームが使用できます。
- AI 現場学習アプリケーション: V1.00 以上
AI 動体検知アプリケーションの標準検知対象（人物・車・二輪車）に、現場で必要となる新しい検知対象を追加
できます。
- AI エンコーダーアプリケーション: V1.00 以上
AI 機能を搭載していないカメラの映像を AI 処理することができます。

※上記品番末尾に UX が付与された品番もサポート対象となります。

カメラ

AI ネットワークカメラ（以降、カメラ）が対象です。

モデル例	バージョン
WV-S1136J, WV-S1135V, WV-S1116D, WV-S1116, WV-S1115V, WV-S1536LNJ, WV-S1516LN, WV-S1516LDN, WV-S1515L, WV-S2136LJ, WV-S2135, WV-S2116LD, WV-S2116L, WV-S2115, WV-S2536LNJ, WV-S1536LTNJ, WV-S2536LTNJ	1.11 以上
WV-X1571LNJ, WV-X2571LNJ, WV-X2533LNJ, WV-X2232LNJ, WV-X1534LNJ	1.50 以上
WV-S4576LJ, WV-S4176J, WV-S4156J, WV-S4556LJ,	1.01 以上
WV-S8543LUX, WV-S8544LUX, WV-S8573LUX, WV-S8574LUX	1.01 以上
WV-S15500-V3LN, WV-S15700-V2LN, WV-S15700-V2LK, WV-S22500-V3L, WV-S25500-V3LN, WV-S25700-V2LN	1.00 以上
WV-S65340-Z2K, WV-S65340-Z2N, WV-S65340-Z4K, WV-S65340-Z4N	1.00 以上

対応する全モデルは以下の URL から確認してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/compatibility

<管理番号 : C0103>

WV-ASM300/ネットワークディスクレコーダー/その他

モデル	バージョン
WV-ASM300	V4.40 以上
WJ-NX100, WJ-NX200, WJ-NX300, WJ-NX400	V4.10 以上 但し、ご使用のカメラへの対応バージョンを確認ください
WJ-NU101, WJ-NU201, WJ-NU300, WJ-NU301	V1.00 以上 但し、ご使用のカメラへの対応バージョンを確認ください
WJ-NX310, WJ-NX410, WJ-NX510	V1.00 以上 但し、ご使用のカメラへの対応バージョンを確認ください
モバイル通知ツール	V1.3.0 以上

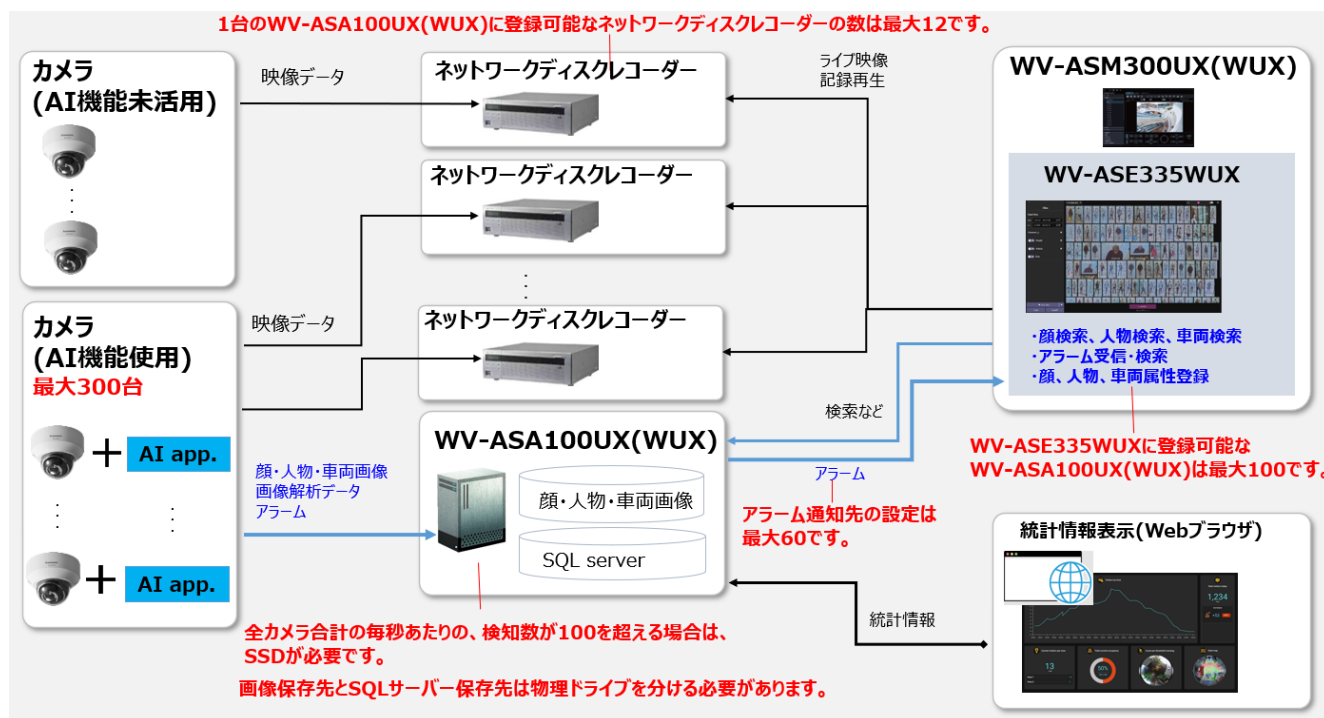
WV-ASA100/WV-ASE335

モデル	バージョン
WV-ASA100 (マルチ AI ソフトウェア) ※ライセンス登録によりカメラ 1 台接続することができます。	V1.3.0 以上
WV-ASE335 (ASM300 用マルチ AI プラグインソフトウェア)	V1.3.0 以上
WV-ASAE101WUX (カメラ拡張キット 1ch) ※以降、ASAE101	-
WV-ASAE104WUX (カメラ拡張キット 4ch) ※以降、ASAE104	-

3. システム設計

3.1. システム構成

3.1.A WV-ASA100 を専用の PC ヘインストールする場合

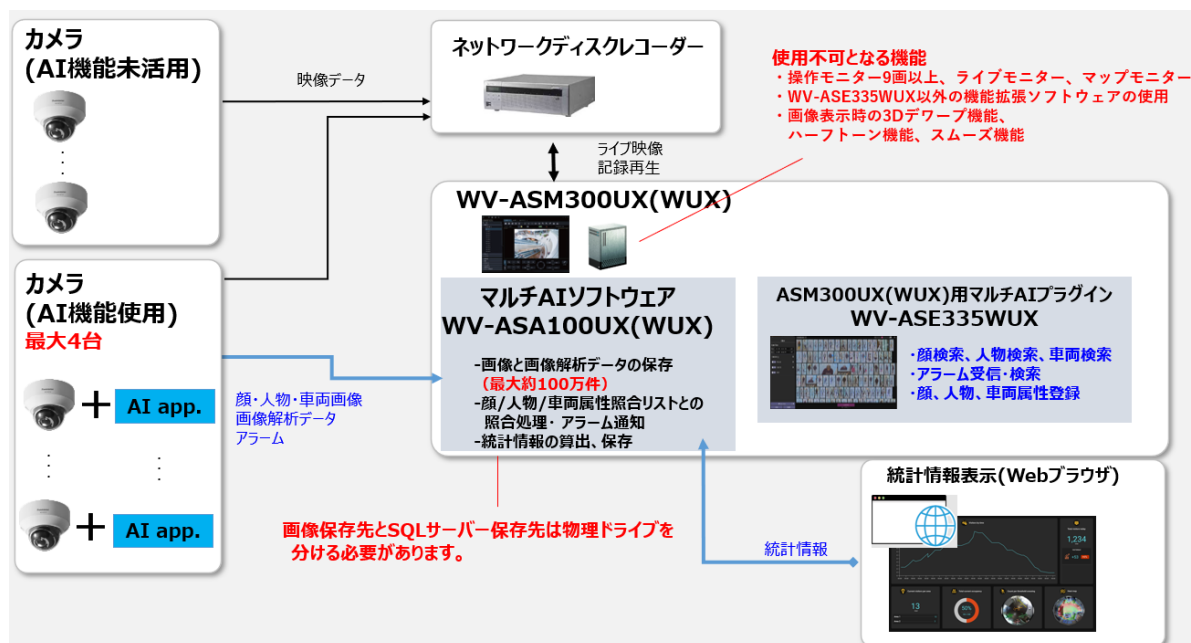


WV-ASA100 を専用の PC ヘインストールする場合、1 台の WV-ASA100 あたり、

- (1) AI 機能を使用する AI ネットワークカメラは最大 300 台です。(AI 顔検知を使用するカメラは最大 60 台までです)
- (2) 最大 12 台のネットワークディスクレコーダーまで登録可能です。
- (3) アラーム通知先の設定は最大 60 です。
- (4) 全カメラ合計の毎秒あたりの、顔、人物、車両の検知数が 100 を超える場合は、SSD が必要です。
- (5) 画像データ保存先と SQL サーバー保存先は物理ドライブを分ける必要があります。
画像データ保存先の設定は 4.1 または 4.1.5.4 を参照してください。
SQL サーバー保存先は "C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server" 固定です。
信頼性を高める必要がある場合は、RAID5 または 6 の使用をご検討ください。

WV-ASE335 に登録可能な WV-ASA100 は最大 100 です。

3.1.B WV-ASA100 を WV-ASM300 と同じ PC ヘインストールする場合



重要

以下のすべての要件を満たさない場合は、WV-ASM300とWV-ASA100をそれぞれ別のPCにインストールしてください。同じPCにインストールした場合、ご購入されたライセンスが使用できない等の問題が発生する可能性があります。また、インストール後に要件を満たさない状態に設定変更された場合、警告メッセージがポップアップ表示されます。

【WV-ASM300】

- ・操作モニターは最大4画表示までご使用いただけます。
操作モニター5画以上、またライブモニター、マップモニターはご使用いただけません。
- ・以下のWV-ASM300機能拡張ソフトウェアとは同時に使用できません。
WV-ASE202W / WV-ASE203W / WV-ASE205W / WV-ASE231W / WV-ASE307W /
WV-ASE333W / WV-ASE334W (2022年1月現在)
- ※上記品番末尾にUXが付与された品番も対象となります。
- ・画像表示時の3Dデワープ機能・ハーフトーン機能・スムーズ機能はご使用いただけません。

【WV-ASA100】

- ・登録できるカメラの数が最大4台に制限されます。
- ・保存できる最大データ数が約100万件までに制限されます。

【共通】

- ・WV-ASA100のメンテナンスのため、夜間0:00から3:30の間は起動状態にしておく必要があります。
また定期的なPCの再起動が必要となり、再起動中のデータは保存されません。
- ・ディスクアクセスの負荷を分散するために、画像データ保存フォルダとSQLサーバー保存先フォルダは物理ドライブを分ける必要があります。
画像データ保存フォルダの設定は4.1または4.1.5.4を参照してください。
SQLサーバー保存先は“C:\Program Files\Microsoft SQL Server”固定です。
- ・必要なPCの最小スペックは、CPU:Core i7-10700以上、メモリ:16GB以上です。

3.2. システム要件

3.2.1 WV-ASA100 システム要件

PC 要件

		要件
ASM300と ASA100を別の PCで使用する場合	カメラ接続台数 ~100台 *内 WV-XAE204W 搭 載カメラは最大 60 台まで	CPU: Intel® Core™ i7-9700 以上 メモリ : 32 GB 以上 OS: Microsoft® Windows 10 Pro(64 bit) Microsoft® Windows 10 Enterprise(64 bit) Microsoft® Windows 10 Education(64 bit) Microsoft® Windows 10 Pro Education(64 bit) * version 2004 or later Microsoft® Windows 10 IoT Enterprise * Version 21H1 or later Microsoft® Windows 11 Pro(64 bit) Microsoft® Windows 11 Enterprise(64 bit) Microsoft® Windows 11 Education(64 bit) Microsoft® Windows 11 Pro Education(64 bit) Microsoft® Windows 11 IoT Enterprise Microsoft® Windows Server 2016 Standard Microsoft® Windows Server 2019 Standard Microsoft® Windows Server 2022 Standard Microsoft® Windows Server 2016 Datacenter Microsoft® Windows Server 2019 Datacenter Microsoft® Windows Server 2022 Datacenter HDD/SSD ドライブ : 2、データ保存ドライブは 1TB 以上

		要件
	カメラ接続台数 ~300 台 *内 WV-XAE204W 搭載カメラは最大 60 台まで	CPU : Intel® Xeon® Silver 4208 以上 メモリ : 32 GB 以上 OS: Microsoft® Windows Server 2016 Standard Microsoft® Windows Server 2019 Standard Microsoft® Windows Server 2022 Standard Microsoft® Windows Server 2016 Datacenter Microsoft® Windows Server 2019 Datacenter Microsoft® Windows Server 2022 Datacenter HDD/SSD ドライブ: RAID5 or 6,データ保存ドライブは 2TB 以上
ASM300と ASA100を 同じ PC で使用する 場合	カメラ接続台数 ~4 台 *内 WV-XAE204W 搭載カメラは最大 4 台まで	CPU: Intel® Core™ i7-10700 以上 メモリ : 16 GB 以上 OS: Microsoft® Windows 10 Pro version 20H2 or later (64bit) Microsoft® Windows 11 Pro (64 bit), HDD/SSD ドライブ : 2、データ保存ドライブは 1TB 以上 グラフィック : NVIDIA Quadro P1000, NVIDIA T1000

ソフトウェア要件

データベース	SQL server 2016/2019 Express/Standard Edition ※WV-ASA100 インストール時に SQL server Express Edition がインストールされます。WV-ASA100 のバージョンにより、SQL server のバージョンが異なります。 <ul style="list-style-type: none">- WV-ASA100 : v 1.0.0 ~ 1.6.2 SQL server 2016 Express Edition.- WV-ASA100 : v 1.8.0 ~ SQL server 2019 Express Edition. アップグレードの場合は既存のバージョンを引き継ぎます アップグレードする場合の手順は 5.8 参照
対応 Web ブラウザー	Microsoft Edge 85 以上 Chrome 83 以上 Firefox 95 以上

ディスクドライブ

全カメラ合計の毎秒あたりの、顔、人物、車両の検知数が 100 を超える場合は、SSD が必要です。HDD の場合、超過したデータが保存されず、またシステム全体が正しく動作しない可能性があります。検知数の上限は 4.1.5.4 で設定することができます。

画像データ保存先と SQL サーバー保存先は物理ドライブを分ける必要があります。

画像データ保存先の設定は 4.1 または 4.1.5.4 を参照してください。

SQL サーバー保存先は "C:\Program Files\Microsoft SQL Server" 固定です。

信頼性を高める必要がある場合は、RAID5 または 6 のご使用を検討ください。

データベース

SQL server Express edition はデータベースの最大サイズに上限(10GB)があります。推定使用サイズは 8GB 以下にする必要があります。3.3 で Express edition で十分かどうか確認してください。Express Edition で約 8GB を超えた場合、古いデータを自動的に削除します。

3.2.2 WV-ASE335 要件

CPU: Intel® Core™ i7-10700 以上

メモリ : 16 GB 以上

OS: Microsoft® Windows 10 Pro version 20H2 or later (64bit)
Microsoft® Windows 11 Pro up to version 22H1 (64 bit)

グラフィック : NVIDIA Quadro P1000,NVIDIA T1000

3.3. システム構成の決定方法

STEP1

以下のカメラの機能拡張ソフトウェアまたは機能を本ソフトウェア(WV-ASA100,WV-ASE335)で使用するカメラの台数を確認ください。

- WV-XAE204W(AI 顔検知アプリケーション)
- WV-XAE205W(AI 人物属性識別アプリケーション)
- WV-XAE206W(AI 車両属性識別アプリケーション)
- WV-XAE207W(AI 混雑検知/ AI 人物カウントアプリケーション)
- WV-XAE200W(AI 動体検知アプリケーション)
- AI 音識別
- WV-XAE300W(AI 動体検知/AI 人数カウントアプリケーション)
- WV-XAE400W(AI 状態変化検知アプリケーション)
- AI 現場学習

※上記品番末尾に UX が付与された品番も対象となります。

4 台以下の場合、WV-ASA100 は ASM300 と同じ PC にインストールして使用することが可能です。制約に関しては、「3.1.B WV-ASA100 を WV-ASM300 と同じ PC にインストール場合」を参照ください。

5 台以上の場合、マルチ AI ソフトは ASM300 と同じ PC にインストールして使用することはできません。

※WV-XAE200W 、AI 音識別は本ソフトウェアを使用しなくてもネットワークディスクレコーダーや ASM300 でご使用可能です。本ソフトウェアで使用する場合は、台数に含めてください。

※カメラ 2 台以上をご使用の場合は、WV-ASAE101（カメラ拡張キット 1ch）または WV-ASAE104（カメラ拡張キット 4ch）が必要になります。

※マルチセンサカメラの場合、機能拡張ソフトウェアは複数のカメラユニットそれぞれに対してインストールすることができ、また本ソフトウェアへそれぞれのカメラユニットを登録する必要があります。

STEP2

関連する機能拡張ソフトウェアの数と、検知する顔、人物、車両の通行量を入力することで、カメラから送信される画像データ量を計算することができます。1台のカメラには複数の機能拡張ソフトウェアがインストール可能です。

(例：1台のカメラへ XAE205W,と XAE206W がインストールされている場合、それぞれ加算します)

		XAE204W	XAE205W	XE206W	XAE300W
機能拡張ソフトウェアの数					
通行量(1カメラ、1時間あたり)	最大				
	平均				

[ビットレート]

最大受信ビットレート[Mbps] (XAE204,XAE205,XAE206)	
最大受信ビットレート[Mbps] (XAE300)	
合計	

[ディスクアクセス]

最大検知頻度(全カメラ合計、1秒あたり)[オブジェクト数]	
-------------------------------	--

最大検知頻度が 100 以下の場合、データ保存ドライブは HDD または SSD の使用が可能です。

最大検知頻度が 100 を超える場合 (最大 300) 、データ保存ドライブは SSD を使用してください。

HDD の場合、超過したデータが保存されず、またシステム全体が正しく動作しない可能性があります。検知数の上限は 4.1.5.4 で設定することができます。

※WV-XAE200W/WV-XAE207W の人数カウント、車両カウント機能および WV-XAE400W によるデータサイズは小さいため、算出は不要です。

STEP3

	XAE204W	XAE205W	XE206W	XAE300W
データ保持期間 (日) ※XAE204W,XAE205W,XAE206W(1-31 日) XAE300W(1-92 日) ※SQL Server Standard Edition 使用時は最大 366 日				
1 日あたりの稼働時間 (時間)				

画像データのディスク使用量推定[GB]	
人数カウントデータのディスク使用量推定[GB]	
合計 ディスク使用量推定 [GB]	

データベース使用量推定[GB]	
-----------------	--

「データベース使用量推定[GB]」が 8GB 未満の場合、本ソフトインストール時にインストールされる SQL Server Express Edition をご使用可能です。8GB を超える場合、データベースの制約ソフトでデータを保存できないため、インストール完了後に SQL Server Standard Edition にアップグレードしてください。

※WV-XAE200W/WV-XAE207W の人数カウント、車両カウント機能および WV-XAE400W によるデータサイズは小さいため、算出は不要です。

3.4. WV-ASA100 の使用ポート

以下ポート番号を使用します。

ポート番号	プロトコル	用途
1435	TCP	SQL server との接続
8090	HTTP	クライアントソフトとの接続
8091	HTTPS	クライアントソフトとの接続
8092	HTTPS	設定画面 (Web ブラウザ) との接続
8888	TCP	内部通信
55000	TCP	内部通信
55002	TCP	内部通信

4. インストールと初期設定

手順概要

カメラの機能拡張ソフトウェアの
インストールと設定

レコーダーへのカメラ登録
WV-ASM300 へのレコーダー登録

※各ソフトウェアの取扱説明書に従い、設定を行ってください。

マルチ AI ソフトウェア (WV-ASA100)
のインストールと初期設定

マルチ AI プラグインソフト (WV-ASE335)
のインストールと初期設定

4.1. WV-ASA100 のインストールと初期設定

以下の URL より WV-ASA100 のソフトウェアをダウンロードして手順にしたがってインストールしてください。
インストール後の設定は Web ブラウザーで行います。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database#term_id_4476

4.1.1. WV-ASA100 のインストール

"MultiAIStartup.exe"を管理者として実行してください。(ファイルの実行パスは 120 文字未満である必要があります)。

.NET Framework 4.8 がインストールされていない場合、自動的にインストールされ、PC 再起動が必要になります。
PC 再起動後、インストーラが自動的に起動します。

ライセンスの使用許諾が表示されたら [同意]にチェックを入れ、[OK]を実行します。



[WV-ASM300と同じPCにインストール]または[WV-ASM300と別のPCにインストール]を選択します。

[WV-ASM300と同じPCにインストール]選択時は、PCの自動再起動設定の有効と無効、また再起動時刻を毎日4時～23時の中から選択します。

[次へ]を実行します。

重要

- [WV-ASM300と同じPCにインストール]は、事前にWV-ASM300のインストールが必要です。WV-ASM300がインストールされている場合に選択することができます。また[WV-ASM300と別のPCにインストール]はWV-ASM300がインストールされていない場合に選択することができます。
- [WV-ASM300と同じPCにインストール]を選択する場合で、お使いのPCに対して自動再起動の設定を既に行っている場合は、[PC自動再起動時刻]のチェックを外して下さい。また再起動の時刻が本ソフトウェアによる夜間の処理完了後になるように、4時～23時に再起動するようにして下さい。夜間の処理に関しては、4.1.5.4 参照ください。

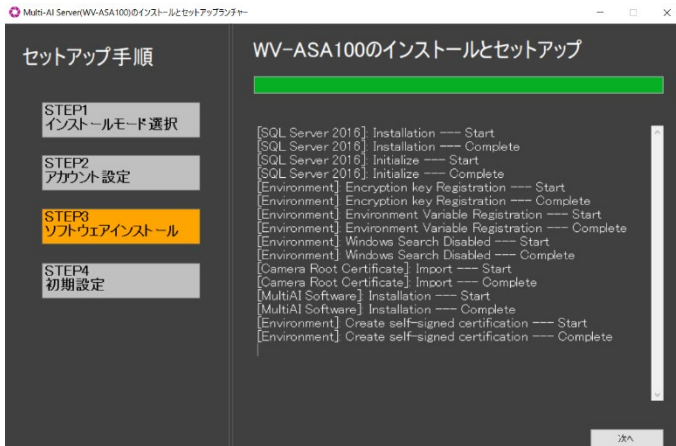


本ソフトウェアの管理者を設定します。

[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[次へ]を実行してください

メモ

- 入力した情報は忘れないようにメモをとって保管してください。パスワードを忘れた場合は、5.7章の手順でリセットすることができます



インストールが始まります。
インストールが完了し、[次へ]ボタンが表示されたらクリックしてください。



ポート番号の設定と[データ暗号化]、[画像データ保存先パス]を設定し、[終了]を実行します。

重要

- [データ暗号化]を[On]にすると、本ソフトに保存される画像データは暗号化されます。本設定はインストール後に設定変更することはできません。設定変更する場合は、再インストールが必要になります。

4.1.2. WV-ASA100 の初期設定

4.1.2.1. ログイン

Google chrome, Microsoft Edge または Firefox で URL に `https://<ip>:8092` と入力し、アクセスします。<ip>には本ソフトがインストールされている PC の IP アドレスを指定して下さい。

セキュリティ警告画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンを押します。



[本ソフトがインストールされている PC の IP アドレス] に進む (安全ではありません) をクリックします。

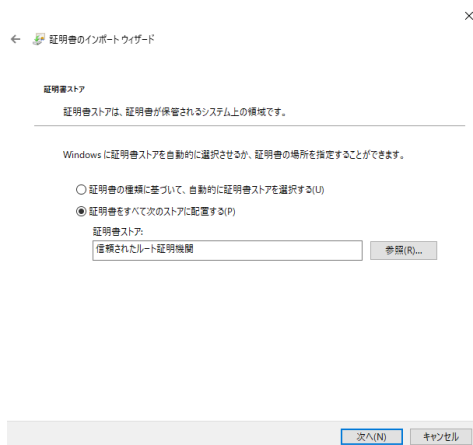


認証ダイアログに、インストール時に設定した管理者のユーザー名、パスワードを入力します。

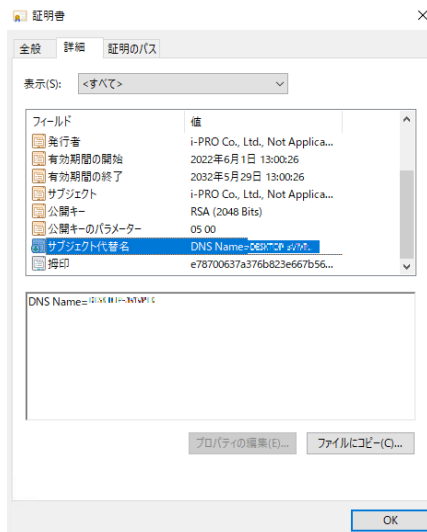
メモ

- 本ソフトウェアがインストールされた PC にパブリック認証局により発行された証明書が設定されていない場合、セキュリティの警告が表示されます。説明にはウェブブラウザに Microsoft Edge バージョン 96.0 を使用しています。その他のブラウザをお使いの場合は、設定の手順や表示が一部異なる場合があります。
-

- WV-ASA100 がインストールされた PC の証明書を WV-ASE335 がインストールされた PC へインストールすることで、セキュリティの警告表示を出さないようにすることが可能です。手順は以下の通りです。
 1. WV-ASA100 がインストールされた PC に配置されている以下の証明書ファイルを WV-ASE335 がインストールされた PC へコピーします。
ファイルパス : C:\MultiAI\apache24\conf\server.crt
 2. 証明書ファイルを実行し、「証明書のインストール」をクリックします。
 3. 保存場所を「ローカルコンピュータ」を選択して「次へ」をクリックします。
 4. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「信頼されたルート証明機関」を参照します。



5. インポートが完了したら、証明書の「詳細」、「サブジェクト代替名」にある DNS Name を確認します。



6. 以下に配置されているファイルをメモ帳で開き、WV-ASA100 がインストールされた PC の IP アドレス、確認した DNS Name を追記します。
ファイルパス : C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts
例) 192.168.0.125 PC-PA1909C1044R
7. Google Chrome, Microsoft Edge または Firefox で https://<DNS Name>:8092 と入力し、アクセスします。

4.1.2.2. ライセンス登録

本ソフトウェア、及び接続するカメラの台数に応じてライセンス登録が必要です。



(ライセンス登録)アイコンをクリックします

ライセンス登録

接続可能なカメラ台数：0

解除キー番号	品番	状態
--------	----	----

機器ID番号 66000000C2F9713A
起動ID番号と埠号ID番号は起動情報案内カードを参照してください

解除キー番号
[] - [] - [] - []

追加 削除

画面に表示される[機器 ID 番号]を確認します。

キー管理システムで[解除キー番号]を発行し、画面へ入力し、[追加]をクリックします。

重要

- ・ [機器 ID 番号] の確認は実際に使用するネットワークアダプターのみ接続された状態で行ってください。また登録後ネットワークアダプターの変更や取り外しは行わないでください。

各ライセンスの[状態]が Activated になっていることを確認します。

設定変更を完了するためにプロセスを再起動してください [Restart](#)

ライセンス登録

接続可能なカメラ台数：9

解除キー番号	品番	状態
1 0527-8859-2601-1456	WV-ASA100	Activated
2 0528-5003-2601-1456	WV-ASAE104W	Activated
3 0528-5003-3753-5744	WV-ASAE104W	Activated

機器ID番号 66000000C2F9713A
起動ID番号と埠号ID番号は起動情報案内カードを参照してください

解除キー番号
[] - [] - [] - []

追加 削除

メモ

- ・ 設定変更を行うと画面上部に[再起動]ボタンが表示されますが、初期設定時はこの時点で再起動は不要です。すべての設定が完了後に再起動してください。

4.1.2.3. レコーダーの登録



(レコーダー登録)アイコンをクリックします。

The screenshot shows the main dashboard with three status cards: 'カメラ接続' (Camera Connection) showing 0 green and 0 red, 'ソフト稼働状態' (Software Operation Status) showing 'プロセス' and 'データベース' as active and 'ディスク空き容量:43.1/98GB', and '診断' (Diagnosis) showing '累計画像データ数:-' and '累計アラーム履歴:-'. Below these is a table with columns: 'IPアドレス', '品番', 'カメラタイトル', '機能', '最終データ受信日時', and '最終自動診断日時'. The recorder registration icon in the left sidebar is highlighted with a red box.

[追加]をクリック

The dialog box titled 'レコーダー登録' (Recorder Registration) contains a table with columns 'IPアドレス' and 'レコーダー'. Above the table are two buttons: '追加' (Add) and '削除' (Delete). The '追加' button is highlighted with a red box.

レコーダーの情報を入力し、[テスト]を実行します。

The configuration dialog box has fields for 'IPアドレス', 'HTTP' (selected) with port '80', 'HTTPS' with port '443', 'ユーザー名', and 'パスワード'. A 'テスト' (Test) button is highlighted with a red box, and a '保存' (Save) button is at the bottom.

重要

HTTP/HTTPS の選択に関わらず、必ず、レコーダーに設定した HTTPS ポートを設定して下さい。

[成功]と表示されたら[保存]を実行します。

登録されたことを確認します。

レコーダー登録

追加 削除

	IPアドレス	レコーダー
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.201 WJ-NX200

メモ

- ・ 登録可能なレコーダーは最大 12 台までです。
 - ・ 設定変更を行うと画面上部に[再起動]ボタンが表示されますが、初期設定時はこの時点で再起動は不要です。すべての設定が完了後に再起動してください。
-

4.1.2.4. カメラ登録



(カメラ登録)アイコンをクリックし、[追加]-[レコーダーから取得]をクリックします

有効なカメラ					
<input type="checkbox"/>	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	SSL

無効なカメラ						
<input type="checkbox"/>	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL

重要

- [AI エンコーダーアプリ] では、AI エンコーダーアプリを追加した AI カメラのみ登録できます。AI エンコーダーアプリケーションを追加した AI カメラの登録は、下記に従い設定してください。
 - (1) カメラ設定
AI エンコーダーアプリケーションの設定で、非 AI カメラを設定します。
対応する非 AI カメラは i-PRO/Panasonic カメラです。
 - (2) レコーダー設定
(1)で設定した非 AI カメラをレコーダーに登録します。
 - (3) ASA100 設定
[AI エンコーダーアプリ] をクリックし、AI エンコーダーアプリケーションを追加した AI カメラの IP アドレス、認証情報を入力し、[チェック]、[保存]をクリックします。

登録が完了すると、以下のように

“非 AI カメラ品番(AI エンコーダーアプリを追加した AI カメラ品番)”が表示されます。

例) WV-U2542LA(WV-S71300)

↑ ↑
非 AI カメラ品番 AI エンコーダーアプリを追加した AI カメラ品番

- [手動(ダッシュボードのみ利用時)]からカメラを登録した場合、統計情報表示機能のみ使用できます。WV-ASE335 から使用することはできません。統計情報表示機能のみ使用する場合は、表示される画面でカメラの情報を入力して登録してください

レコーダーに登録されているカメラが表示されます。

本ソフトに登録したい AI ネットワークカメラを選択し、カメラの認証情報を入力後、[チェック]を実行します。

<input type="checkbox"/>	IPアドレス	品番	カメラタイトル	チェック結果
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.25	WV-X2251	Cam2	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM6	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM7	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM5	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	CAM11	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.79	WV-S4176	Cam4	

カメラ接続

HTTP 80
 HTTPS 443

ユーザー名
パスワード

メモ

カメラは IP アドレス、品番、カメラタイトルで並び替えが可能です。また[未登録カメラのみ表示]をチェックすると、本ソフトへ登録していないカメラが表示されます。

対応しているカメラの場合、AI 機能に応じてアイコンが表示されます。[保存]を実行します

<input type="checkbox"/>	IPアドレス	品番	カメラタイトル	チェック結果
<input type="checkbox"/>	192.168.0.25	WV-X2251	Cam2	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM6	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM7	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM5	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	CAM11	
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.79	WV-S4176	Cam4	

カメラ接続

HTTP 80
 HTTPS 443

ユーザー名 admin
パスワード

- AI 顔検知
- AI 人物属性識別
- AI 車両属性識別
- AI 動体検知
- AI 音識別
- AI 状態変化検知
- AI 人数カウント・混雑検知(※)
- AI 車両カウント
- AI 現場学習

※ AI アプリケーションによって、有効な機能が異なります。

	ラインカウント	エリアカウント	ヒートマップ	混雑検知
WV-XAE200WUX	yes	-	-	-
WV-XAE207WUX	-	Yes	-	Yes
WV-XAE300WUX	yes	yes	yes	Yes

カメラが登録されたことを確認します。

有効のカメラ

登録済レコーダー 追加 削除 保存

WJ-NX200

その他カメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1 <input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S1136	Cam1		80	Off
2 <input type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	Cam2		80	Off
3 <input type="checkbox"/>	192.168.0.72	WV-S2136	CAM11		80	Off
4 <input type="checkbox"/>	192.168.0.73	WV-S2136	Cam4		80	Off

無効のカメラ ↑ ↓

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
--------	----	---------	----	------------	-----

メモ

レコーダーが複数登録されている場合、[登録済レコーダー]からそれぞれ[レコーダーから取得]によりカメラの登録を行う必要があります。[手動で登録]による登録したカメラの登録状況は、[その他カメラ]で確認することができます。

4.1.3. プロセスの再起動


設定変更を完了するためにプロセスの再起動を行う必要があります。

すべての設定変更が完了したら、画面上部に表示される [Restart] ボタン,または [ホーム] 画面のプロセス制御 (4.1.8.2)から再起動を行ってください。

設定変更を完了するためにプロセスを再起動してください

Restart


4.1.4. 確認


 (ホーム)アイコンをクリックします。


● [カメラ接続]の確認

すべてのカメラが接続できていることを確認します。



IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	最終データ受信日時	最終自動診断日時
192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	  	-	-
192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	  	-	-
192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	  	-	-
192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	 	-	-

 : 接続できているカメラ台数を表しています。

 : 接続できていないカメラの台数を表しています。カメラとのネットワーク接続を確認してください。

● [ソフト稼働状態]の確認

[プロセス]と[データベース]の横に  が表示されていることを確認します。

4.1.5. システム設定変更 (任意)



(システム設定) アイコンをクリックします。

4.1.5.1. 言語

[Auto]、[English]または [Japanese] から選択します(初期値: Auto)。
ブラウザの設定言語が日本語または英語以外に設定されている場合、英語が表示されます。

4.1.5.2. クライアントソフトとの接続

[HTTP]、[HTTPS]及びポート番号を設定します (初期値: インストールツールで設定した値。4.1.1 参照)
[HTTPS]を使用すると通信データを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。


4.1.5.3. WEB アクセスポート

設定画面及び統計情報表示画面へのアクセスポートを設定します。(初期値: インストールツールで設定した値。4.1.1 参照)

4.1.5.4. データベース

設定項目	説明
データの保存	<p>すべてのデータ：画像を含めた全ての情報を保存します。</p> <p>アラームと統計情報のみ：アラームと統計情報を保存します。</p> <p>統計情報のみ：統計情報を保存します。</p>
保存期間(日)	<p>[顔画像、人物画像、車両画像、アラーム履歴]</p> <p>SQL Server Express Edition 使用時：1 – 31（初期値: 31）</p> <p>SQL Server Standard Edition 使用時：1 – 366（初期値: 366）</p> <p>[カウント/ヒートマップ/統計情報]</p> <p>SQL Server Express Edition 使用時：1 – 92（初期値: 92）</p> <p>SQL Server Standard Edition 使用時：1 – 366（初期値: 366）</p> <div data-bbox="544 875 1449 1176" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存期間を過ぎたデータは、翌日のおおよそ 0:00 AM～3:30AM の期間で削除されます。PC がシャットダウンされている場合、データの削除は行われません。これにより保存ディスクドライブの空き容量が不足する場合、新しい画像データを保存できない可能性があります。この期間は本ソフトがインストールされている PC は起動しておいてください。 </div>
CSV バックアップ	<p>有効/無効（初期値：無効）</p> <p>有効にすると[カウント/ヒートマップ/統計情報]が保存期間を過ぎて、データを SQL サーバーから削除する際に、自動的に CSV ファイルとしてバックアップすることができます。また有効にした場合は、[データ保存ドライブの最大使用量(GB)]の設定が自動的に有効になります。</p> <div data-bbox="544 1444 1449 1785" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> バックアップされた CSV ファイルのデータは、統計情報表示画面で単独で指定・表示することはできません。 この範囲のデータは、以前との比較表示、かつ表示期間が 1 日の場合のみ表示できます。 * サーチモードで、[以前と比較]をチェックし、[表示期間]に[1 日]を選択した場合のみ表示できます。 </div>

設定項目	説明
データ保存ドライブの最大使用量 (GB)	有効/無効 (初期値: 無効)とサイズ(10- 2000 (GB))の設定が可能です。 本設定を有効にすることで、本ソフトがデータ保存に使用するディスクドライブの使用量に上限を設けることができます。有効にして、[データ保存先]に設定したディスクドライブ全体の使用量が本サイズ設定値を超えた場合に、古いデータを自動的に削除します。この処理は 1 時間に 1 回動作します。
画像データ保存先	画像データの保存先を設定します。(初期値: C:¥MultiAI¥Image) 重要 <ul style="list-style-type: none"> 変更した場合、それまでに保存されていたデータは使用できなくなります。
SQL サーバーデータ保存先	SQL サーバーデータ保存先が表示されます。変更することはできません。
カメラからの最大データ受信頻度 (毎秒)	50 -300 (初期値: 100) 本ソフトに登録されているすべてのカメラのデータが本設定値を超えた場合、データ保存ディスクドライブへのアクセス負荷を低減するために超過分のデータは保存されません。100 より大きい値に設定する場合は SSD を使用してください。
データ暗号化	On/Off 4.1.1.のインストール時に設定した設定した値が表示されます。インストール後に変更することはできません。

 アイコンをクリックすると、お使いのディスク使用量やデータベースの使用サイズの目安値の算出が可能です。

各項目に入力して[計算]を実行してください。

✕

カメラ台数

顔 人物 車両 人数カウント

1カメラ1時間あたりの平均検知数

顔 人物 車両

保存期間(日数)

顔 人物 車両 人数カウント

1日あたりの稼働時間

顔 人物 車両 人数カウント

推定ディスク使用量
 画像/ヒートマップ情報 : 67.33GB
 データベース : 4.08GB

※上記以外の拡張ソフトウェアを含む計算が必要な場合は、下記URLにアクセスしてご確認ください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools

メモ

表示される推定ディスク使用量はあくまでも目安値となります。
 実際のデータサイズは、被写体などの環境に大きく依存します。

4.1.5.5. 初期化

[画像データ]: 画像データを削除します。

[アラーム履歴]: アラーム履歴情報を削除します。

[統計情報]: カウント、ヒートマップ/統計情報を削除します。

[照合リスト]: WV-ASE335 から登録された顔、人物および車両照合リスト情報を削除します。

[設定情報]: 設定されているレコーダー登録、カメラ登録、システム設定情報やログを初期化します。

ユーザー情報やネットワーク接続設定は初期化されません。

[画像データ]削除時、保存されているデータが多い場合、削除に時間がかかる場合があります。削除中は以下のように表示されます。最新の状態を表示するにはブラウザの画面を更新してください。



画像データ アラーム履歴 統計情報

照合リスト 設定情報
(ネットワーク設定とユーザー情報除く)

削除

削除中

4.1.6. アラーム通知設定 (任意)

各種アラームの通知設定を行います。

WV-ASE335 (4.2.2)の初期設定を行うと、アラーム通知設定は自動的に行われます。

通知条件を変更する場合は本画面から手動で設定を行います。



(アラーム通知設定) アイコン [追加]をクリックします。

IPアドレス	タイプ	ポート	通知	アラーム種別
--------	-----	-----	----	--------

- タイプに[WV-ASE335 (マルチ AI プラグイン)], [モバイル通知ツール], [カメラ]を選択した場合 [IP アドレス], [通知ポート], [アラーム発生元カメラ], [通知], [アラーム種別]を選択し, [保存]を実行します。

タイプ: WV-ASE335W(マルチAIプラグイン)

IPアドレス: 192.168.0.100

通知ポート: 1819

通知:
 アラーム
 システム障害
 最大データ受信頻度を超過時(データ破棄)
 最大ディスク使用量サイズに到達時
(最古画像削除)

アラーム種別: 全アラーム

保存

- タイプに[IO ユニット(ADAM-6256)]を選択した場合

[IP アドレス]、[アラーム発生元カメラ]、[ユーザー名]、[パスワード]、[送信コマンド]、[時間設定]、[時間経過後の送信コマンド]、[通知]、[アラーム種別]を選択し、[保存]を実行します。

タイプ IOユニット(ADAM-6256)

IPアドレス

通知ポート 80

アラーム発生元カメラ 全てのカメラ

ユーザー名

パスワード

送信コマンド 000=1

*0Onyn: チャンネル番号(0-15), y:-値(0 or 1)

時間設定

時間経過後の送信コマンド

通知

アラーム

システム障害

最大データ受信頻度を超過時(データ破棄)

最大ディスク使用量サイズに到達時(最古画像削除)

アラーム種別 全アラーム

保存

- タイプに[カスタム HTTP 通知]を選択した場合

[IP アドレス]、[通知ポート]、[アラーム発生元カメラ]、[送信コマンド]、[時間設定]、[時間経過後の送信コマンド]、[通知]、[アラーム種別]を選択し、[保存]を実行します。

タイプ カスタムHTTP通知

IPアドレス

通知ポート 80

データ送信元カメラ 全てのカメラ

送信コマンド

時間設定

時間経過後の送信コマンド

通知

アラーム

システム障害

最大データ受信頻度を超過時(データ破棄)

最大ディスク使用量サイズに到達時(最古画像削除)

アラーム種別 全アラーム

保存

【タイプ】

本ソフトで顔照合アラームなどを検知した場合に通知先として指定したい装置またはソフトウェアを[WV-ASE335 (マルチ AI プラグイン)]、[モバイル通知ツール]、[カメラ]、[IO ユニット(ADAM-6256)]、[カスタム HTTP 通知]から選択します。

[WV-ASE335 (マルチ AI プラグイン)]は特定のマルチ AI プラグインへアラーム送信する場合に選択します。

[モバイル通知ツール] は特定のスマートフォンへアラーム送信する場合に選択します。

[カメラ]は、特定のカメラへアラーム送信する場合に選択します。

[カメラ]を選択する場合は、カメラの設定画面からコマンドアラームの受信設定を On にする必要があります

[IO ユニット(ADAM-6256)]はアドバンテック株式会社製の IO ユニット ADAM-6256 へアラーム送信する場合に選択します。

[カスタム HTTP 通知] は特定の機器へ HTTP 通知でアラーム送信する場合に選択します。その際のコマンドを指定することが可能です。

[IP アドレス][通知ポート]

通知先の装置またはソフトウェアのポート番号を指定します。

タイプに[WV-ASE335 (マルチ AI プラグイン)]を選択した場合は、WV-ASE335 の環境設定で設定する番号と同じ値を設定します。(取扱説明書 操作設定編を参照ください)

タイプに[カメラ]を選択した場合は、カメラのコマンドアラームの受信ポート番号を設定します。

[アラーム発生元カメラ]

登録されているカメラからアラーム通知を受けるカメラを指定します。

[送信コマンド]

アラーム発生時に機器に送信するコマンドを指定します。

タイプに[IO ユニット(ADAM-6256)]を選択した場合

制御するチャンネル番号と値を入力します。

例：DO0 を 1 にする場合、[DO0=1]を入力します

例：DO0 と DO1 を 1 にする場合、[DO0=1&DO1=1]を入力します

※ 指定しないチャンネルはすべて 0 になります。詳しくは ADAM-6256 のマニュアルを参照ください。

タイプに[カスタム HTTP 通知]を選択した場合

接続する機器の仕様にあわせて入力します。

例：http://<ip>:<port>/test を送信する場合、[送信コマンド]は[/test]を設定します。

[時間設定]

[送信コマンド]で設定したコマンドを送信してから[時間経過後の送信コマンド]で送信するコマンドまでの時間を指定します。

[時間経過後の送信コマンド]

[送信コマンド]で設定したコマンドを送信して後に送信するコマンドを指定します。本項目は[時間設定]のチェックが入った場合に設定が可能です。

[通知]

アラーム

全てのアラーム、顔照合アラーム、人物属性照合アラーム、車両属性照合アラーム、AI 動体検知アラーム、AI 音識別アラーム、AI 混雑検知アラーム、AI 状態変化検知アラームのうち、[アラーム種別]で指定されたアラームを通知します。

システム障害

本ソフトで検知したカメラとのネットワーク通信や動作異常を通知します。

最大データ受信頻度を超過時 (データ破棄)

4.1.5.4.で設定した、[カメラからの最大データ受信頻度 (毎秒)]を超えた場合に通知します。

最大ディスク使用量サイズに到達時（最古画像削除）

4.1.5.4. で設定した[データ保存ドライブの最大使用量(GB)]を超えた場合に通知します。

[アラーム種別]

[タイプ]に[WV-ASE335(マルチ AI プラグイン)]、[モバイル通知ツール]、[IO ユニット(ADAM-6256)]、[カスタム HTTP 通知]を選択した場合

[全アラーム]、[顔照合アラーム]、[人物属性照合アラーム]、[車両属性照合アラーム]、[AI 動体検知]、[AI 混雑検知]、[AI 音識別]、[AI 状態変化検知]から選択します。また顔照合リストに[カテゴリー]を設定している場合、カテゴリー名が表示され、カテゴリーごとに応じた通知先の設定が可能です。

[タイプ]に[カメラ]を選択した場合

[顔照合アラーム]、[人物属性照合アラーム]、[車両属性照合アラーム]から選択します。

メモ

- 設定可能な通知設定は最大 60 です。
- 登録されているカメラや機能拡張ソフトウェアの種類によって、[アラーム種別]に表示される内容は異なります。
- 4.2.2 の WV-ASE335 の設定画面から本ソフトとの接続設定を行うと、その PC の WV-ASE335 に対する通知設定は自動で行われます。その際、[通知]は[アラーム]のみ、[アラーム種別]は[全アラーム]が設定されます。

設定されていることを確認します。

[通知]、[アラーム種別]を変更する場合は、本画面から変更して[保存]を実行します。

削除する場合は、行を選択し、[削除]を実行します

アラーム通知設定

追加 削除 保存

IPアドレス	タイプ	ポート	通知	アラーム種別	
1	192.168.0.207	WV-ASE335W(マルチAIプラグイン)	1819	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム <input type="checkbox"/> システム障害 <input type="checkbox"/> 最大データ受信頻度を超過時(データ破棄) <input type="checkbox"/> 最大ディスク使用量サイズに到達時(最古画像削除)	全アラーム

4.1.7. 統計情報表示の設定 (任意)

統計情報表示機能に関するカメラグループ設定、ユーザー管理設定を行います。
その他、設定や操作に関しては、取扱説明書 操作設定編を参照してください。

4.1.7.1. カメラグループ設定

統計情報表示機能では、複数のカメラをグループとして設定しておくことで、グループごとの統計情報の表示が使用可能になります。



(グループ設定)アイコンをクリックします。



The screenshot shows the 'WV-ASA100 設定' (Settings) interface. At the top, a yellow banner reads '設定変更を完了するためにプロセスを再起動してください' (Please restart the process to complete the settings change) with a 'Restart' button. The main area is titled 'グループ設定' (Group Settings) and shows a list of groups with 'Group1' selected. A red box highlights the '+' button next to 'Group1'. Below the group name, there is a '保存' (Save) button, also highlighted with a red box. A table below allows selecting cameras to add to the group. The table has columns for 'IPアドレス' (IP Address) and 'カメラタイトル' (Camera Title). The first row is checked, and a red box highlights the first column of the table.

IPアドレス	カメラタイトル
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.44 Cam3
<input type="checkbox"/>	192.168.0.70 Cam1
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.71 Cam2
<input type="checkbox"/>	192.168.0.72 CAM11
<input type="checkbox"/>	192.168.0.73 Cam4

[+] ボタンをクリックし、グループ名とカメラを選択して[保存]を実行します。

メモ

- 最大 16 グループまで設定可能です。1 グループあたり、最大 32 台のカメラまで選択可能です。
- グループを削除するには、設定されているグループ名を右クリックして[グループを削除する]を実行します。

4.1.7.2. ユーザー設定

複数のユーザーを設定することで、ユーザーごとの統計情報表示の設定が可能になります。



(ユーザー管理)アイコン - [追加]をクリックします。



表示される画面で[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワード再入力]を入力し、[保存]を実行します。

4.1.8. その他の状態表示・制御機能(任意)

4.1.8.1. カメラ接続状態

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	最終データ受信日時	最終自動診断日時
92.168.0.44	WV-S4156	Cam3	正常	2022/01/10 14:15	-
92.168.0.50	WV-S2136	CAM9	正常	2022/01/10 14:14	-
92.168.0.54	WV-S2136	CAM10	正常	-	-
92.168.0.63	WV-X2251	CAM6	正常	2022/01/10 14:14	-
92.168.0.70	WV-S1136	Cam1	異常	-	2022/01/10 14:01
92.168.0.71	WV-S1136	Cam2	異常	-	2022/01/10 14:06
92.168.0.72	WV-S2136	CAM11	異常	-	2022/01/10 13:51
92.168.0.73	WV-S2136	Cam4	正常	-	2022/01/10 14:11

🟢 : カメラとの接続状態は正常です。

🔴 : カメラとの接続が切断されています。

⚠️ : カメラと接続できていますが、通信の自動診断結果が失敗している状態です。カメラの機能拡張ソフトウェアが正しく動作していない可能性があります。インストール状態やスケジュール設定を確認してください。

最終データ受信日時

カメラが最後に検知した顔、人物、車両、アラームなどの検知時刻を表します。この時刻が実際にカメラに映った時刻よりも古い場合、カメラの機能拡張ソフトウェアが正しく設定されていない可能性があります。

最終自動診断日時

カメラに AI 顔検知、AI 人物属性識別、AI 車両属性識別アプリケーションのいずれがインストールされている場合、本ソフトウェアとカメラとの通信やデータベース保存の自動診断を行います。最終自動診断日時はその最後の時刻を表示します。エラーが発生している場合、時刻は赤で表示されます。カメラの状態やソフト稼働状態を確認してください。

メモ

- カメラの機能拡張ソフトウェアのスケジュール設定を手動で変更している場合は、本エラー表示は行われますが、問題はありません。
- 自動診断は 5 分間隔でカメラ 1 台ずつ行われます。

4.1.8.2. ソフト稼働状態



履歴

本ソフトウェアがインストールされている PC 全体の CPU 使用率、メモリ使用量、ディスクアクセス、ネットワーク使用量と、本ソフトウェアが使用する CPU 使用率、メモリ使用量の 1 時間分のデータを表示します。

表示したい期間を選択し、[取得]を実行してください(31 日前までのデータが選択可能です)。

これらの表示はソフトインストール後の状態確認や、トラブル発生時の調査に使用することができます。

PC のシャットダウンやインストール前など、指定した時刻のデータが記録されていない場合は正しく表示されない場合があります。

プロセス制御

本ソフトウェアに関連するプロセスの停止や再起動を行うことができます。正常に稼働している場合は[稼働中]または[未使用]が表示されます。

(稼働中となる[AI Camera Stream Process x]の数は登録されているカメラの台数によって変わります)

システム稼働後に PC の再起動が必要な場合は、[Multi AI Camera Service]と [MultiAI Support Process Management Service]を停止してから行ってください。(5.6.1 参照)。

トラブル発生時は、この状態の確認し、また再起動により、復旧する場合があります。

4.1.8.3. 診断

WV-ASA100 設定

カメラ接続: 24 (緑), 0 (赤)

ソフト稼働状態: プロセス, データベース, ディスク空き容量: 863/931GB

診断: 累計画像データ数: 3543945, 累計アラーム履歴: 549263 (2022/03/30 19:30)

保存データ数表示: 全ての画像データ, 日時: 2022/03/30, 取得

IPアドレス	30th Mar	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
192.168.0.52	35387	1581	2126	2178	1069	2445	1264	1705	2994	977	1943	1130	2670	2662	2070	1509	812	2037	1315
192.168.0.53	1016	54	120	115	32	54	12	42	50	67	84	29	33	52	60	31	19	52	22
192.168.0.55	365	45	3	3	21	18	13	24	9	12	12	4	17	28	9	6	55	5	71
192.168.0.57	14599	524	946	990	419	952	504	800	1181	381	820	457	1127	1029	862	627	372	868	606
192.168.0.58	2457	366	1	2	242	132	36	31	34	348	34	0	17	386	1	2	399	15	406
192.168.0.60	2100	72	178	182	45	89	28	92	169	110	229	57	72	184	91	71	38	192	56
192.168.0.61	1854	55	182	173	46	85	27	71	144	92	185	48	85	149	100	57	36	149	48

PC情報: System version: 1.3.2, OS: Windows Server 2019 Standard, version 1809, build 17763.1697, Web version: 1.3.2, CPU: Intel(R) Xeon(R) Silver 4208 CPU @ 2.10GHz, 改ざん防止: 無効, 仮想メモリ: 4864MB, 高速スタートアップ: 無効, Windows update: 有効

保存データ数表示

カメラから受信し、保存した各種データの数を表示します。31 日前までのデータが選択可能です。選択可能な項目は登録されているカメラは機能拡張ソフトウェアによって変わります。

*選択可能な項目

- 全ての画像データ
- 顔画像データ
- 人物画像データ
- 車両画像データ
- 全てのアラーム
- 顔照合アラーム
- 人物属性照合アラーム
- 車両属性照合アラーム
- AI 音識別
- AI 動体検知
- AI 混雑検知
- AI 状態変化検知

PC 情報

ソフトウェアのバージョン、OS や Windows 設定の情報を表示します。

4.1.8.4. ログの表示

本ソフトウェアで検知したエラーの概要を確認することができます。

The screenshot shows the 'WV-ASA100 設定' (Settings) page. It features three summary cards: 'カメラ接続' (Camera Connection) with 8 green and 0 red indicators, 'ソフト稼働状態' (Software Operation Status) showing 'プロセス' (Process) and 'データベース' (Database) as active and 'ディスク空き容量:297.3/476GB' (Disk free space: 297.3/476GB), and '診断' (Diagnosis) showing '累計ベストショット枚数:-' (Total best shot count: -) and '累計アラーム履歴:-' (Total alarm history: -). Below these is a table of camera data.

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	最終データ受信日時	最終自動診断日時
192.168.0.44	WV-S4156	Cam3	📶👤👤👤	2022/01/10 14:15	-
192.168.0.50	WV-S2136	CAM9	👤📶📶	2022/01/10 14:14	-
192.168.0.54	WV-S2136	CAM10	📶📶	-	-
192.168.0.63	WV-X2251	CAM6	📶👤📶	2022/01/10 14:14	-
192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	👤📶📶	-	2022/01/10 14:01
192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	📶📶📶	-	2022/01/10 14:06
192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	📶📶📶	-	2022/01/10 13:51
192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	📶📶	-	2022/01/10 14:11



アイコンをクリックします。


表示する期間と、表示内容のレベルを[エラー]、[警告]、[情報]から選択し、[取得]を実行します。31 日前まで指定可能です。最大で 1000 件まで表示可能です。

内容の詳細と、トラブルシューティングのためのエラーコードは 6 トラブルシューティングを参照してください。

The screenshot shows the 'Log' display interface. It includes filters for date (2021/05/09 to 2021/05/10), level (error, warning, information), and a 'Get' button. The table below shows several warning messages related to server process failures.

Date	Level	Category	Message	Code
2021/05/10 21:02	Warning	Server process	Cannot receive test data from camera (1724635326)	010205
2021/05/10 21:02	Warning	Server process	Failed to send test data request to camera (1724635326) (The remote server returned an error: (400) Bad Request.)	010204
2021/05/10 20:57	Warning	Server process	Cannot receive test data from camera (118488675)	010205
2021/05/10 20:57	Warning	Server process	Failed to send test data request to camera (118488675) (The remote server returned an error: (400) Bad Request.)	010204
2021/05/10 20:52	Warning	Server process	Cannot receive test data from camera (730645128)	010205

4.1.8.5. ログのダウンロード



WV-ASA100 設定

カメラ接続: 8 (緑), 0 (赤)

ソフト稼働状態: プロセス, データベース, ディスク空き容量: 297.3/476GB

診断: 累計ベストショット枚数: -, 累計アラーム履歴: (-)

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	最終データ受信日時	最終自動診断日時
192.168.0.44	WV-S4156	Cam3	(i) (u) (g)	2022/01/10 14:15	-
192.168.0.50	WV-S2136	CAM9	(i) (u) (g)	2022/01/10 14:14	-
192.168.0.54	WV-S2136	CAM10	(i) (u) (g)	-	-
192.168.0.63	WV-X2251	CAM6	(i) (u) (g)	2022/01/10 14:14	-
192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	(i) (u) (g)	-	2022/01/10 14:01
192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	(i) (u) (g)	-	2022/01/10 14:06
192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	(i) (u) (g)	-	2022/01/10 13:51
192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	(i) (u) (g)	-	2022/01/10 14:11

↓ アイコンをクリックします。



システム情報のダウンロード

*カメラ接続, ソフト稼働状態, 診断

ログデータのダウンロード

*ファイル名は動作ログの時刻を表しています

最新

- [2022-01-05_090316339](#)
- [2021-12-28_093710411](#)
- [2021-12-27_094603086](#)
- [2021-12-09_091643864](#)

システム情報のダウンロード

クリックするとカメラとの接続状態、ソフト稼働状態、診断、画面に表示しているログ情報を json 形式でダウンロードします。

ログデータのダウンロード

詳細な動作ログをダウンロードします。表示される時刻 (“yyyy-mm-dd_hhmmssfff”) はそのログに含まれる時刻を表します。

例：この画面表示の場合、“2022-01-05_090316339”には 2021-12-28 09:37:10.441 から 2022-01-05 09:03:16.339 までのログが含まれます。

4.1.9. Windows の設定

本ソフトウェアを安定的に動作させるためには以下の Windows の設定が必要です。

OS や OS のバージョンによって設定方法は変わる場合があります。

4.1.9.1. リアルタイム保護と改ざん防止の無効化

Windows10 の場合

(スタート – 設定 – システム– 更新とセキュリティ – Windows セキュリティ – ウィルスと脅威の防止 –設定の管理)

[リアルタイム保護]と[改ざん防止]を[オフ]に設定します。

Windows server OS には改ざん防止機能はありません。

4.1.9.2. Windows Update サービスの無効化

Windows updates は システムを最新に保つために重要ですが、それによって予定されていない PC の再起動や本ソフトウェアの動作に影響する場合があります。これらの影響を防ぐためには Windows update の無効化が必要です。

Windows 10 の場合

(スタート – Windows 管理ツール – サービス - “Windows Update”を右クリック – プロパティ)

スタートアップの種類を[無効]に変更して[OK]を実行します。

4.1.9.3. 仮想メモリ設定

仮想メモリが不足しているとデータベースが停止する恐れがあります。 下記の手順で仮想メモリの設定を確認してください。



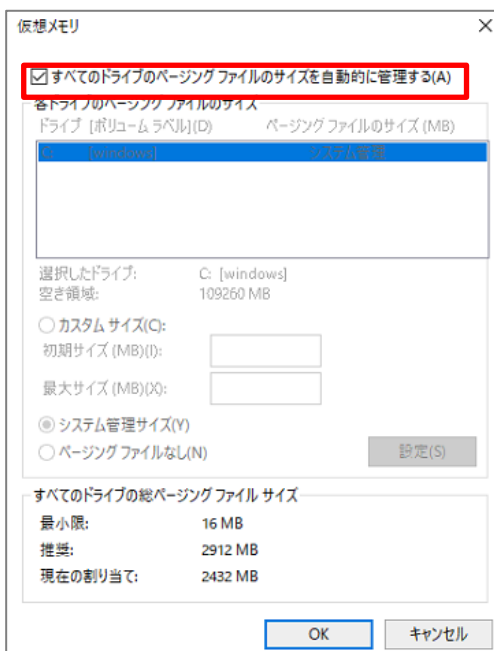
Windows10 の場合

スタート – Windows システムツール – [コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[システム]-[システムの詳細設定]をクリックしシステムのプロパティ画面を開きます。

「パフォーマンス」の「設定(S)」ボタンをクリックします。



パフォーマンスオプション画面で「詳細設定」タブを選び、「仮想メモリ」の「変更(C)」ボタンをクリックします。



仮想メモリ画面で、「すべてのドライブのすべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する(A)」にチェックが入っているか確認します。
チェックされていない場合は、チェックをして「OK」ボタンをクリックしてください。

4.2. WV-ASE335 のインストールと初期設定

以下の URL より WV-ASE335 のソフトウェアをダウンロードして手順にしたがってインストールしてください。
インストールや設定は WV-ASM300 から行います。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database#term_id_4426

4.2.1. WV-ASE335 のインストールとライセンス登録

STEP1

WV-ASM300 の運用ソフトウェアを起動し、管理者でログインし、設定画面を開きます

STEP2

[追加アプリ登録]を選択し、[参照]から MultiAIPlugin.plg を指定し、その後、[インストール]を実行します。



STEP3

画面に従ってインストールを実行します。

STEP4

ライセンスの登録は、初めて PC に本ソフトウェアをインストールした場合に必要です。

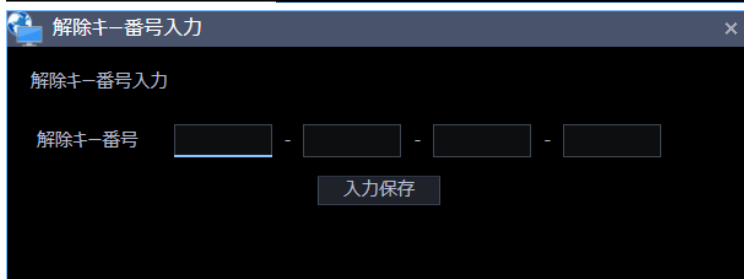
ライセンスの登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。

ソフトウェアの解除キー番号の取得方法は、本ソフトウェアに付属する「起動情報案内カード」をお読みください。

ASM300 の設定画面の [追加アプリ登録] 画面から [登録画面へ] ボタンをクリックします。

STEP5

[追加] ボタンをクリックし、キー管理システムから取得した [解除キー番号] を入力し、[入力保存] を実行します。

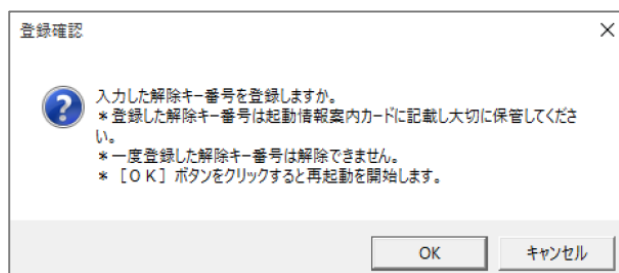


STEP6

入力された解除キー番号の情報を確認し、[登録] ボタンをクリックします。

STEP7

[OK] をクリックします。登録を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



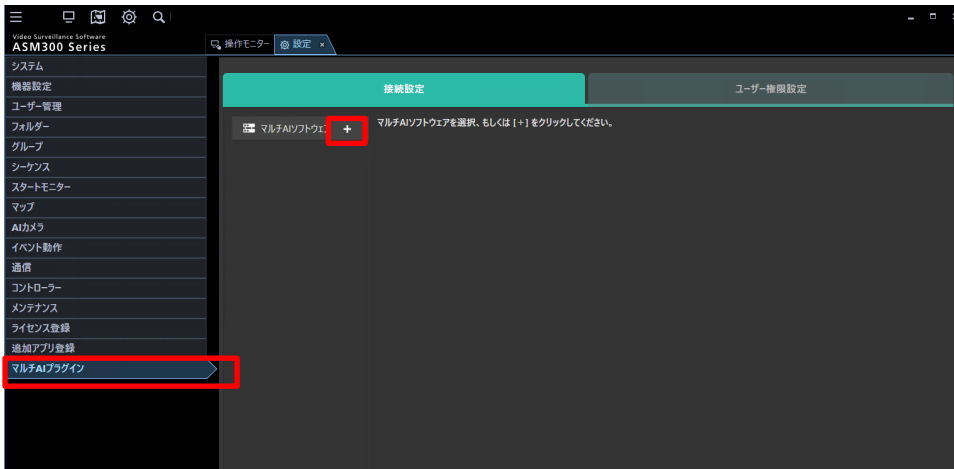
重要

- 解除キー番号は、取得時に使用した機器 ID 番号が表示された PC でのみ有効です。他の PC では使用できません。必ず使用する PC で登録を行ってください。
- 一度登録された解除キー番号は本ソフトウェア上で解除することができません。登録に間違いがないか必ず確認してください。
- [OK] をクリックすると自動的に ASM300 が再起動されます。

4.2.2. WV-ASA100 との接続設定

STEP1

WV-ASM300 の設定画面から[マルチ AI プラグイン]を選択し、[+]ボタンをクリックします。



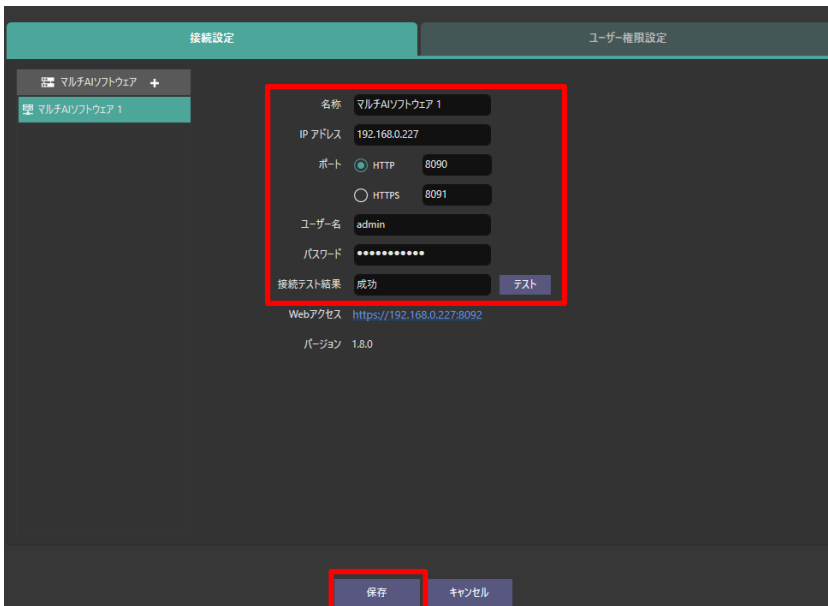
STEP2

WV-ASA100 の情報を入力後、[テスト]を実行します。

ユーザー名とパスワードは、WV-ASA100 のインストール時に設定した管理者のユーザー名、パスワードを入力します。

ポート番号は WV-ASA100 のインストール時に設定したプラグイン接続ポート番号を入力します。

[接続テスト結果]に[成功]と表示されたら、画面の下に表示される[保存]を実行します。



メモ

登録可能な WV-ASA100 は最大 100 です。

4.2.3. ユーザー権限設定 (任意)

WV-ASM300 に設定されているユーザーに対して、本ソフトで顔照合リストの追加/編集/削除、人物照合リストの追加/編集/削除、車両照合リストの追加/編集/削除を行う権限の設定を行います。

STEP1

WV-ASM300 の設定画面から[マルチ AI プラグイン]を選択し、[ユーザー権限設定]をクリックします。



STEP2

レベル 0-5 の設定と、各ユーザーに対するレベル設定を変更し、[保存]を実行します。

メモ

一部のプラグインの機能は、WV-ASM300 の[レベル設定]または[ユーザー設定]と連動します。

WV-ASM300 でこれらの設定が無効になっている場合、対応するプラグインの機能は使用できません。

WV-ASM300 のレベル設定、ユーザー設定項目	対応するプラグイン機能
検索 / 再生 / レコーダー操作	マルチ AI 検索モニター、及びマルチ AI イベントモニターでのすべての検索操作や、アラーム受信・表示機能。
アラームログ参照	マルチ AI イベントモニターでの検索操作や、アラーム受信・表示機能。
印刷 / 静止画保存	動画再生画面でのスナップショット
ダウンロード	検索結果のデータ出力、動画出力
アラーム復帰 / エラー復帰	動画再生画面からのアラームの状態の変更
表示可能マップ	カメラ選択時のマップ表示、動画再生画面のマップ表示

4.2.4. 確認

WV-ASM300 を起動している場合は一度終了し、再度起動してください。

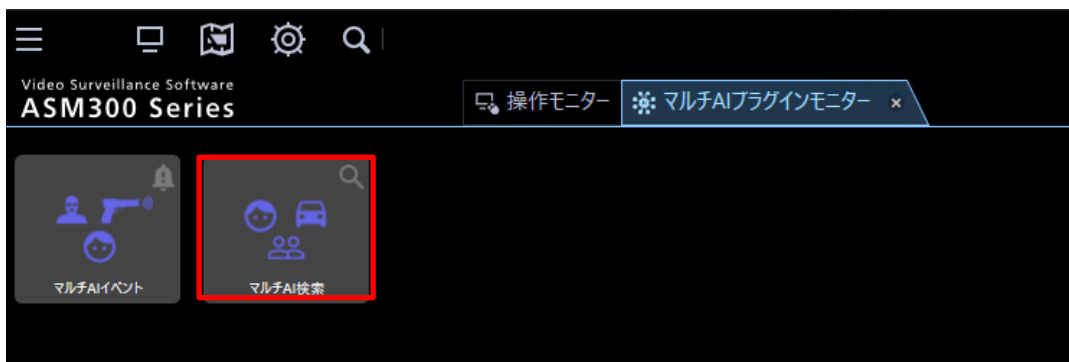
STEP1

WV-ASM300 の操作モニターからマルチ AI プラグインモニターのアイコンをクリックします。



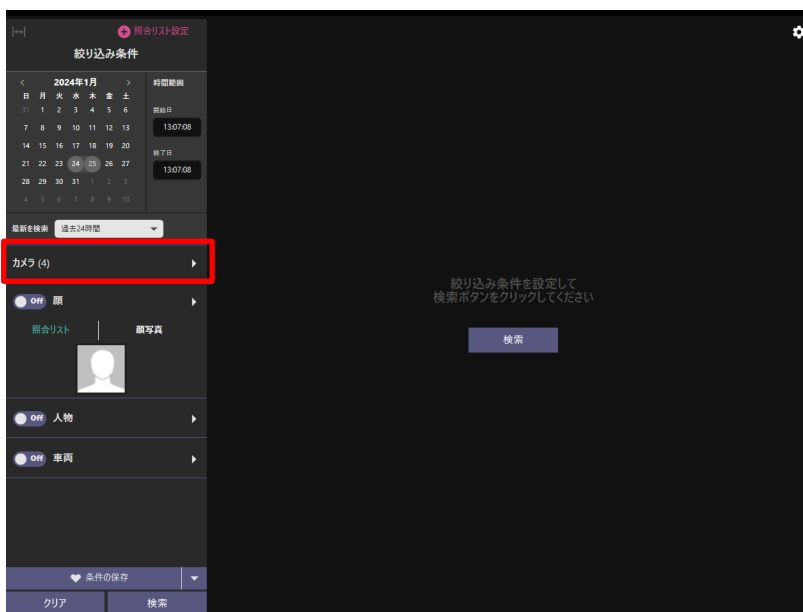
STEP2

[マルチ AI 検索]をクリックします。



STEP3

WV-ASA100 との接続が正常な場合、[カメラ (x)]のように AI 顔検知、AI 人物属性識別、AI 車両属性識別アプリケーションが有効なカメラの台数が表示されます。x が 0 の場合、再度 4.2.2 の接続設定を確認してください。または WV-ASA100 にカメラが登録されていない可能性があります。4.1.2.4 の手順に従って登録してください。



カメラが物体を検知している場合、検索を実行することで検索結果の画像が表示されます。

4.3. WV-ASA100 のバージョンアップ

重要

- WV-ASA100 をバージョンアップする場合、すでにインストールされている WV-ASA100 のバージョンのアンインストールは行わないでください。アンインストールを行うと過去のデータは使用できなくなります。

"MultiAIStartup.exe"を管理者として実行してください。(ファイルの実行パスはが 120 文字未満である必要があります)。ライセンスの使用許諾が表示されたら [同意]にチェックを入れ、 [OK]を実行します。



インストールが始まります。

インストールが完了し、[次へ]ボタンが表示されたらクリックしてください。



[終了]を実行します。

4.4. WV-ASE335 のバージョンアップ

STEP1

WV-ASM300 の設定画面から[追加アプリ登録]ボタンをクリックします。

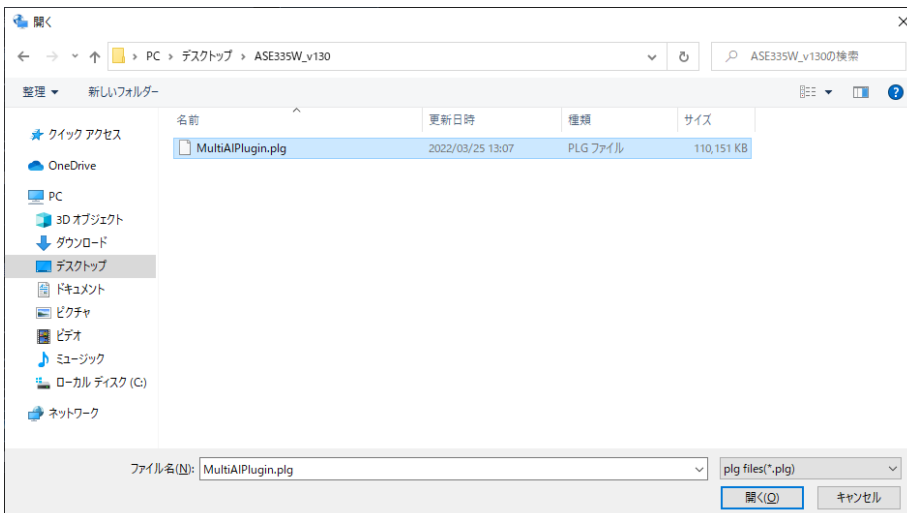
→ 追加アプリ登録画面が表示されます。



STEP2

[参照]ボタンをクリックします。

→ ファイルを開く画面が表示されます。



STEP3

バージョンアップするアプリの plg ファイルを選択し、[開く(O)] ボタンをクリックします。

→ アプリ名とバージョンが表示され、「インストール」ボタンが「バージョンアップ」ボタンとなります。



STEP4

[バージョンアップ] ボタンをクリックします。

→ バージョンアップ確認画面が表示されます。画面の指示に従って [OK] ボタンをクリックします。



STEP5

バージョンアップが開始されます。バージョンアップ中、数回画面が表示される場合がありますが、画面の指示に従って、処理を進めてください。

STEP6

バージョンアップ完了画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



メモ

- ・ 同一バージョンまたは下位バージョンにつきましては、バージョンアップできません。この場合、一旦アンインストールしてから、再度インストールしなおしてください。

重要

WV-ASM300(V6.00 以前)と WV-ASE335W(V1.50 以前)をご使用の場合で、WV-ASE335WUX(V1.60 以降)へバージョンアップを行う際は以下の手順でインストールを実施してください。

[WV-ASM300 (V6.10 以降)へバージョンアップする場合]

1. WV-ASM300(V6.00 以前)をアンインストールします。
2. WV-ASM300(V6.10 以降)をインストールします。
3. 既に WV-ASE335W(V1.50 以前)がインストールされている場合は、アンインストールします。
4. WV-ASE335WUX(V1.60 以降)を新規にインストールします。

[WV-ASM300UX(V6.10 以降)へバージョンアップする場合]

1. WV-ASM300(V6.00 以前)をアンインストールします。
2. WV-ASM300UX(V6.10 以降)をインストールします。この時、WV-ASE335W(V1.50 以前)は自動的にアンインストールされます。
3. WV-ASE335WUX(V1.60 以降)を新規にインストールします。
→ 2の操作でプラグインの設定データは全て初期化されますので、再度設定を行ってください。

5. システム構成の変更

5.1. カメラ、レコーダーの追加

5.1.1. カメラ追加

STEP1

レコーダーへカメラを追加後、WV-ASM300 で登録情報の更新を行ってください。

STEP2

WV-ASA100 へカメラを追加します。(4.1.2.4 参照)

STEP3

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

STEP4

WV-ASM300 を起動している場合は一度終了し、再度起動してください。

5.1.2. レコーダーの追加

STEP1

レコーダーへカメラを追加、WV-ASM300 へレコーダーの登録を行います。

STEP2

レコーダーをWV-ASA100 へ追加します。(4.1.2.3 参照)

STEP3

追加したレコーダーを選択し、[追加]-[レコーダーから取得]を選択してカメラを登録します。(4.1.2.4 参照)

登録済レコーダー	有効なカメラ
WJ-NX400	
WJ-NX400	
その他カメラ	

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL

無効なカメラ

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL

STEP4

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

STEP5

WV-ASM300 を起動している場合は一度終了し、再度起動してください。

5.2. カメラ、レコーダーの削除

5.2.1. カメラの削除

STEP1

[カメラ登録]画面から削除するカメラにチェックをいれて、[削除]を実行します。

すでに保存されている画像データは使用できなくなります。

WV-ASA100 設定

登録済レコーダー
WJ-NX200
その他カメラ

有効のカメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.44	WV-S4156	Cam3	80	Off
2	<input type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM9	80	Off
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM10	80	Off
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM6	80	Off
5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	80	Off
6	<input type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	80	Off
7	<input type="checkbox"/>	192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	80	Off
8	<input type="checkbox"/>	192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	80	Off

無効のカメラ

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
--------	----	---------	----	------------	-----

STEP2

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

5.2.2. 登録カメラの一時的な無効化

特定のカメラの登録を一時的に無効化するためには、カメラの無効化を行います。無効化にしているカメラは WV-ASE335 や統計情報表示機能を使用することができません。無効化したカメラを後で有効にした場合、保存されている画像データは保存期間を超えていない限り、再度使用することができます。

STEP1

[カメラ登録]から無効化するカメラにチェックを入れて、「↓」ボタンをクリックして[無効のカメラ]へ移動します。

WV-ASA100 設定

登録済レコーダー
WJ-NX200
その他カメラ

有効のカメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.44	WV-S4156	Cam3	80	Off
2	<input type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM9	80	Off
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM10	80	Off
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM6	80	Off
5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	80	Off
6	<input type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	80	Off
7	<input type="checkbox"/>	192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	80	Off
8	<input type="checkbox"/>	192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	80	Off

無効のカメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL

STEP2

[保存]を実行します。

有効のカメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.44	WV-S4156	Cam3	80	Off
2	<input type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM9	80	Off
3	<input type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM6	80	Off
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S1136	Cam1	80	Off
5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	Cam2	80	Off
6	<input type="checkbox"/>	192.168.0.72	WV-S2136	CAM11	80	Off
7	<input type="checkbox"/>	192.168.0.73	WV-S2136	Cam4	80	Off

無効のカメラ

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM10	80	Off

STEP3

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

無効化したカメラを再度、有効化する場合、[有効なカメラ]へ移動し、[保存]後、プロセスの再起動を行ってください。

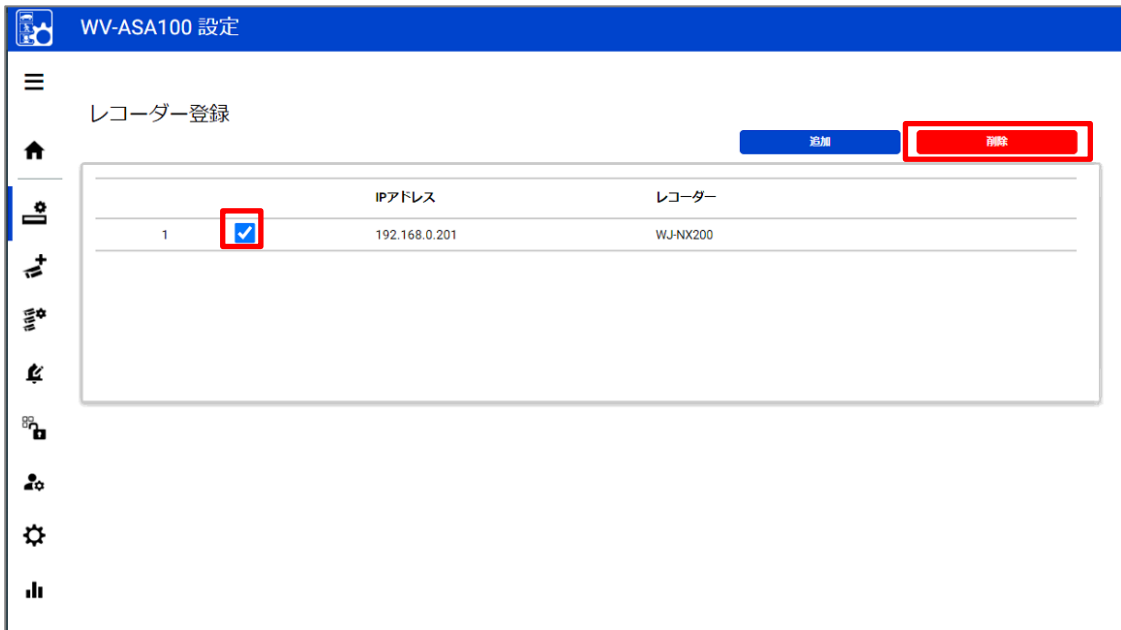
5.2.3. レコーダーの削除

STEP1

[レコーダー登録]画面から削除するレコーダーにチェックをいれて[削除]を実行します。

レコーダーを削除すると、そのレコーダーに登録されているカメラとの接続設定も削除されます。

そのカメラからのデータの受信は停止し、また WV-ASE335 や統計情報表示機能で、それまでに保存したデータは使用できなくなります。



削除したレコーダーやカメラを再度登録した場合、過去にそのカメラから受信したデータは、保存期間を超えていない限り、再度使用することができます。

STEP2

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

5.3. カメラ情報の更新

重要

- WV-ASA100 に登録されているカメラの設定変更(※)を行った後は、本章の操作を行い WV-ASA100 のカメラ情報を更新してください。
IP アドレスを変更する場合は、5.5 を参照してください

※設定変更は以下のケースがあります。

- カメラの設定変更
(例：IP アドレス、カメラタイトル)
- カメラの拡張ソフトウェアの設定変更
(例：拡張ソフトウェアのインストールやアンインストール、AI 動体検知アプリケーションのライン名称設定)

5.3.1. カメラおよび拡張ソフトウェアの設定更新

STEP1

カメラの設定、カメラの機能拡張ソフトウェアの設定を各取扱説明書に従い、行います。

STEP2

[カメラ登録] 画面から [レコーダーから取得] をクリックします。(4.1.2.4 参照)

機能拡張ソフトウェアを変更したカメラにチェックをいれて [チェック] を実行し、[チェック結果] に表示されるアイコンが機能拡張ソフトウェアに応じて、変更されたことを確認します。その後、再度 [保存] を実行してください。

STEP3


プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

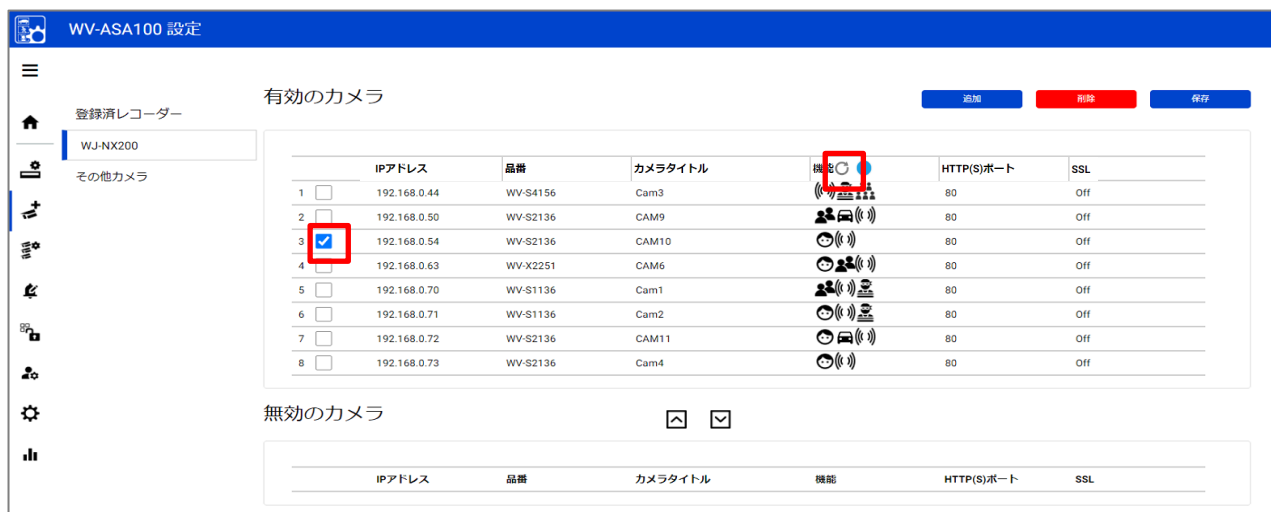
5.3.2. 拡張ソフトウェアの設定更新

STEP1

カメラの機能拡張ソフトウェアの取扱説明書に従い、設定を変更します。

STEP2

[カメラ登録] 画面から対象のカメラにチェックを入れ、 をクリックします。



	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL	
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.44	WV-S4156	Cam3		80	Off
2	<input type="checkbox"/>	192.168.0.50	WV-S2136	CAM9		80	Off
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.54	WV-S2136	CAM10		80	Off
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.63	WV-X2251	CAM6		80	Off
5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S1136	Cam1		80	Off
6	<input type="checkbox"/>	192.168.0.71	WV-S1136	Cam2		80	Off
7	<input type="checkbox"/>	192.168.0.72	WV-S2136	CAM11		80	Off
8	<input type="checkbox"/>	192.168.0.73	WV-S2136	Cam4		80	Off

無効のカメラ

IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
--------	----	---------	----	------------	-----

メモ

- 本機能では IP アドレス、カメラタイトルのようなカメラ設定は更新できません。
もし期待した結果と異なる場合は、5.3.1 の方法で更新をお試しください。

STEP3

[機能] に表示されるアイコンが機能拡張ソフトウェアに応じて、変更されたことを確認します。

5.4. アンインストール

5.4.1. WV-ASE335 のアンインストール

STEP1

ASM300 の設定画面の [追加アプリ登録] ボタンをクリックします。

STEP2

[アンインストール] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

5.4.2. WV-ASA100 のアンインストール

STEP1

Windows のコントロールパネルの[プログラムと機能]を開きます。

STEP2

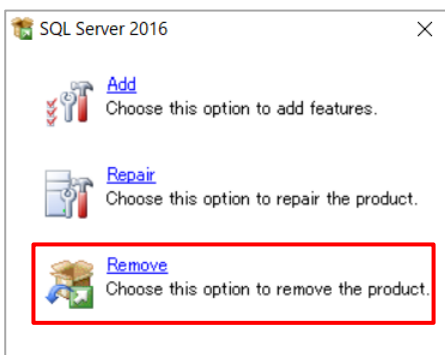
[WV-ASA100]を選択し、[アンインストール]をクリックします。

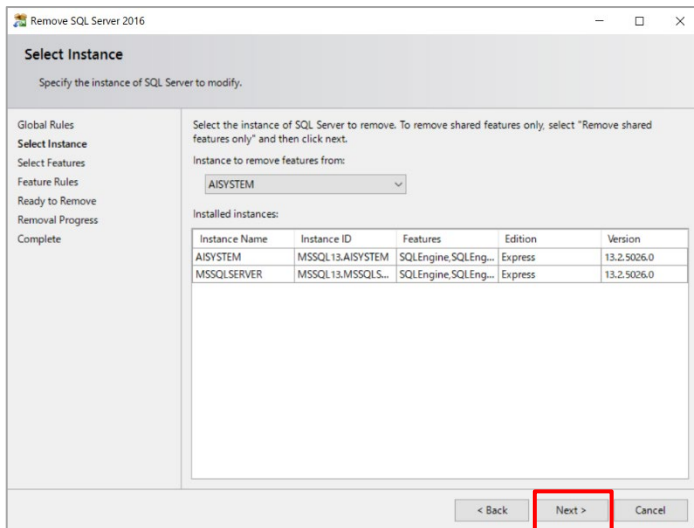
アンインストール完了後、[C:¥MultiAI]フォルダを削除します。

STEP3

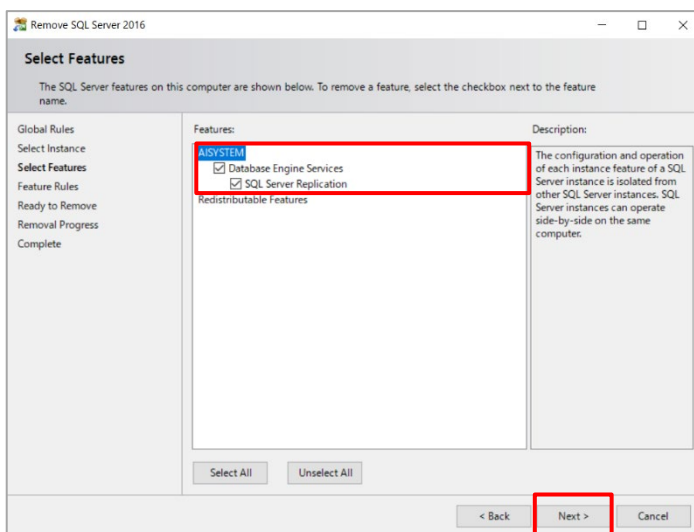
[Microsoft SQL Server 2016 (64 bit)] または[Microsoft SQL Server 2019 (64 bit)]を選択し、
[アンインストール]をクリックします。

[Remove]を選択します。

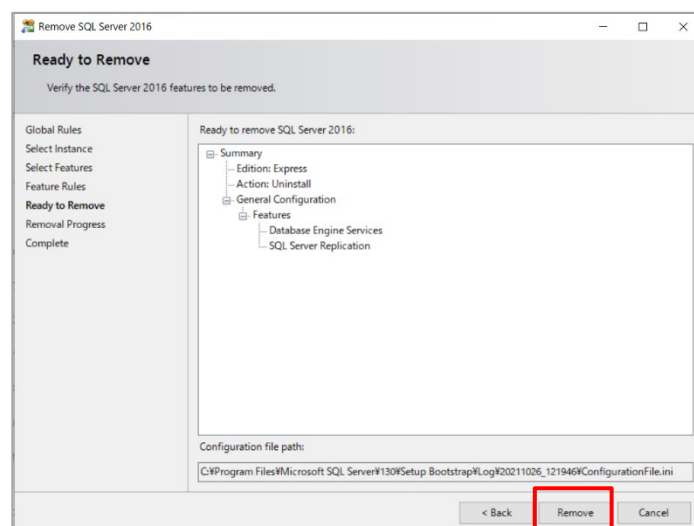




[AISYSTEM]を選択して[Next]をクリックします。



[AISYSTEM]に含まれる機能にチェックをいれて[Next]をクリックします。



[Remove]を実行します。

STEP4

アンインストール完了後、“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL13.AYSYSTEM” フォルダまたは
“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL15.AYSYSTEM”フォルダを削除します。

5.5. IP アドレス変更

5.5.1. カメラの IP アドレス変更

STEP1

カメラの IP アドレス変更後、レコーダーや WV-ASM300 の設定情報を更新します。各ソフトウェアの取扱説明書に従い、設定を行ってください。

STEP2

WV-ASA100 からカメラの情報を削除します。(5.2.1 参照)

STEP3

カメラの再登録を行います。(4.1.2.4 参照)

STEP4

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

5.5.2. レコーダーの IP アドレス変更

STEP1

レコーダーの IP アドレスを変更後、WV-ASM300 の設定情報を更新します。各ソフトウェアの取扱説明書に従い、設定を行ってください。

STEP2

WV-ASA100 からレコーダーを削除します。(5.2.3 参照)

STEP3

レコーダーを再度、登録します。(4.1.2.3 参照).

STEP4

プロセスの再起動を行います。(4.1.3 参照)

5.5.3. WV-ASA100 の IP アドレス変更

IP アドレス変更後も既に保存されている画像データは使用可能です。

STEP1

WV-ASA100 がインストールされている PC の IP アドレスを変更します。

STEP2

WV-ASE335 の設定画面から、WV-ASA100 の接続設定を更新します。(4.2.2 参照).

5.6. データのバックアップとリストア

WV-ASA100 に保存されている画像データやデータベースのデータを手動でバックアップやリストアを行うことができます。リストアする場合は、バックアップ時と復元時の WV-ASA100 のバージョンを同じにする必要があります。また別の PC にリストアする場合は、ライセンスの再発行、再登録を行う必要があります。

5.6.1. バックアップ手順

STEP1

Windows のスタート – Windows 管理ツール – タスクスケジューラを開きます。
[AliveMonitoringProcess]を右クリックして、[無効]に設定します。

STEP2

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスを開きます。
[MultiAICameraService], [MultiAISupportProcessManagementService]と[SQL Server(AISYSTEM)]をそれぞれ右クリックして[停止]します。

STEP3

SQL サーバーデータ保存先のフォルダを開き、“ai_db.mdf”, “aicam.mdf”, “support_db.mdf”, ai_db_log.ldf”, “aicam_log.ldf”, “support_db_log.ldf”, “bi.mdf”, “bi_log.ldf”ファイルを安全な保存先へコピーします。

SQL サーバーデータ保存先はインストールした SQL により異なります。

SQL server 2016 の場合

“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL13.AISYSTEM¥MSSQL¥DATA”

SQL server 2019 の場合

“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL15.AISYSTEM¥MSSQL¥DATA”

STEP4

“C:¥MultiAI¥Image” フォルダを安全な保存先へコピーします

保存先を変更している場合は、そのフォルダをコピーしてください。

“C:¥MultiAI¥Backup¥WebConfig” フォルダを安全な保存先へコピーします。

STEP5

Windows のスタートメニューで“regedit”と入力し、レジストリエディターを開きます。以下のフォルダをそれぞれ右クリックで安全な保存先へエクスポートします。

“¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Panasonic¥AiSystem”.

または

“¥ HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥i-PRO¥AiSystem”.

“¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥Panasonic¥AiSystem”.

または

“¥ HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥ i-PRO ¥AiSystem”.

STEP6

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスを開きます。

[MultiAICameraService], [MultiAISupportProcessManagementService]と[SQL Server(AISYSTEM)]をそれぞれ右クリックして[開始]します。

STEP7

Windows のスタート – Windows 管理ツール – タスクスケジューラを開きます。

[AliveMonitoringProcess]を右クリックして、[有効]に設定します。

5.6.2. リストア手順

バックアップしたときと同じバージョンのインストールが完了している状態から行ってください。

またバックアップした PC と別の PC にリストアする場合は、ライセンスの再登録を行う必要があります。

STEP1

Windows のスタート – Windows 管理ツール – タスクスケジューラを開きます。

[AliveMonitoringProcess]を右クリックして、[無効]に設定します。

STEP2

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスを開きます。

[MultiAICameraService], [MultiAISupportProcessManagementService]と[SQL Server(AISYSTEM)]をそれぞれ右クリックして[停止]します。

STEP3

バックアップした“ai_db.mdf”, “aicam.mdf”, “support_db.mdf”, ai_db_log.ldf”, “aicam_log.ldf”, “support_db_log.ldf”, “bi.mdf”, “bi_log.ldf” を SQL サーバーデータ保存先フォルダへ上書きコピーします。

SQL サーバーデータ保存先はインストールした SQL により異なります。

SQL server 2016 の場合

“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL13.AISYSTEM¥MSSQL¥DATA”

SQL server 2019 の場合

“C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL15.AISYSTEM¥MSSQL¥DATA”

STEP4

バックアップした“Image”フォルダを“C:¥MultiAI”フォルダへコピーします。

バックアップした“WebConfig”フォルダを“C:¥MultiAI¥Backup”フォルダへコピーします。

STEP5

バックアップしたレジストリのエクスポートファイルをダブルクリックして、レジストリの更新を行います。

STEP6

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスを開きます。

“SQL Server(AISYSTEM)”を右クリックして[開始]します。

STEP7

“C:¥MultiAI¥tools¥restore_user¥restore_user.bat”を管理者として実行します。

STEP8

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスから

[MultiAICameraService], [MultiAISupportProcessManagementService]をそれぞれ右クリックして[開始]します。

STEP9

登録されているカメラを[無効なカメラ]へ変更後(5.2.2 参照)、登録されているライセンスをすべて削除し、ライセンスの再登録を行います。その後、再度[有効なカメラ]へ変更します。

STEP10

Windows のスタート – Windows 管理ツール – サービスから

[MultiAICameraService], [MultiAISupportProcessManagementService]をそれぞれ右クリックして[再起動]します。

STEP11

Windows のスタート – Windows 管理ツール – タスクスケジューラを開きます。

[AliveMonitoringProcess]を右クリックして、[有効]に設定します。

5.7. WV-ASA100 の管理者アカウントのリセット

WV-ASA100 のインストール時に設定した管理者のアカウントを忘れた場合、インストールされた PC でリセットを行う必要があります。

“C:¥MultiAI¥tools¥ChangeAdminPassword¥ChangeAdminPassword.exe”を管理者として起動し、新しい認証情報を設定してください。

5.8. SQL server Standard Edition へのアップグレード

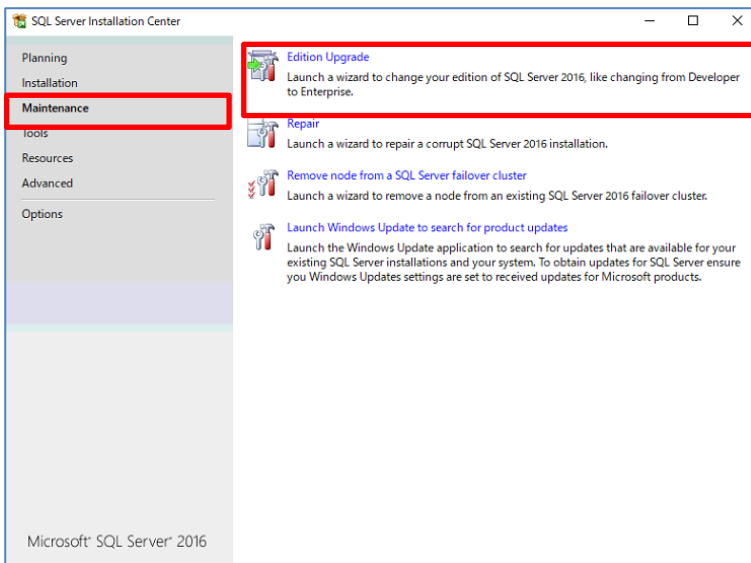
ご使用の環境で SQL server Standard Edition が必要になるかどうかは 3.3 章から算出が可能です。
必要な場合、ライセンス購入、ソフトウェアを入手後、以下の手順でアップグレードを行ってください。
事前に WV-ASA100 のインストールを完了している必要があります。
また表示される画面や言語は変わる場合があります。

STEP1

SQL server Standard Edition のインストールメディアに含まれる [setup.exe] を実行します。

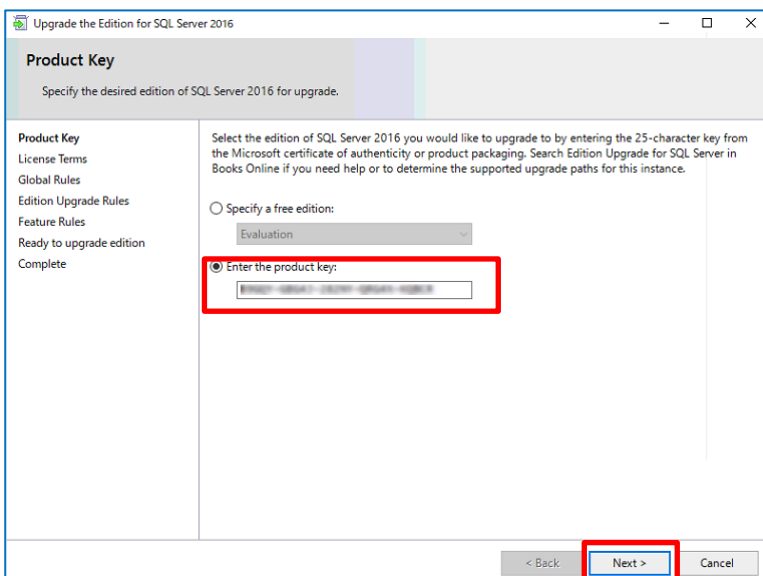
STEP2

[Maintenance]-[Edition Upgrade] を選択します。



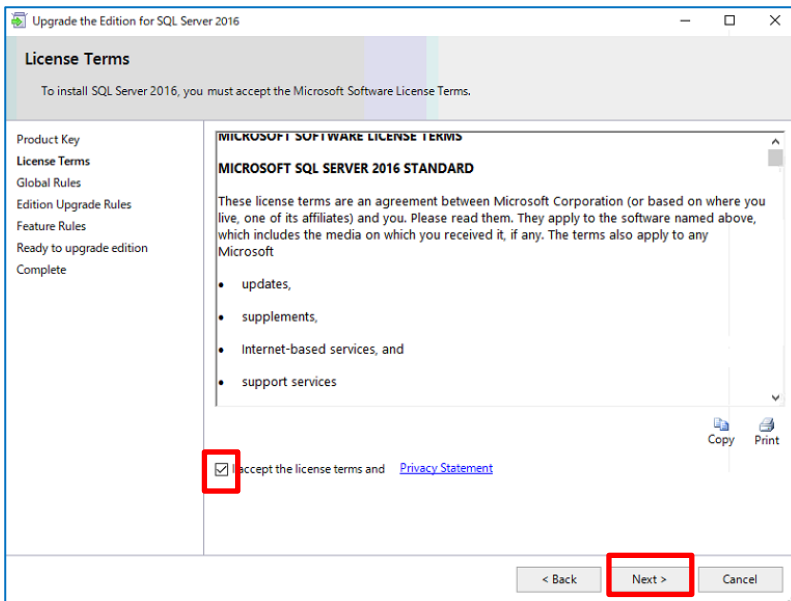
STEP3

プロダクトキーが表示されていることを確認し、[Next] をクリックします



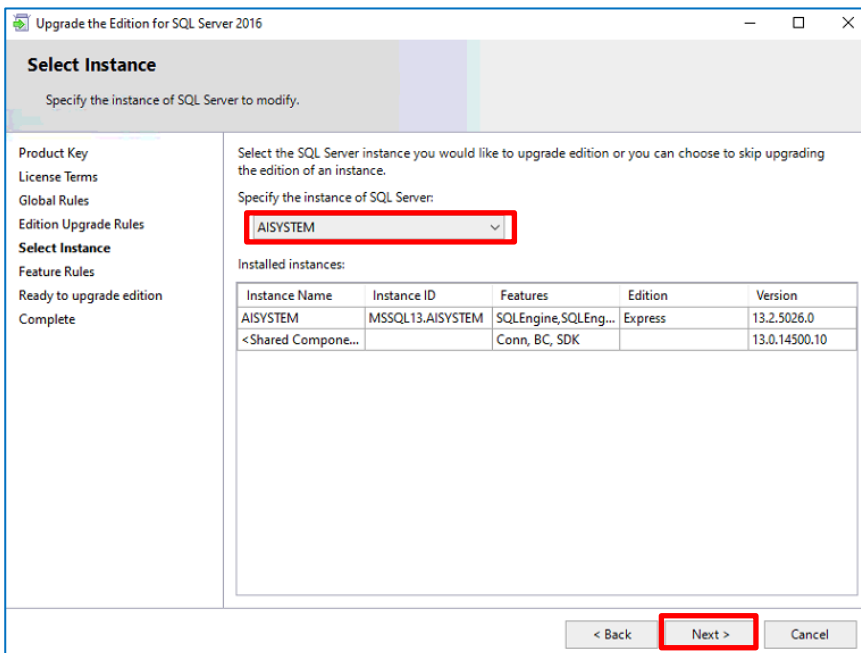
STEP4

ライセンスを確認してチェックを入れ [Next]をクリックします。



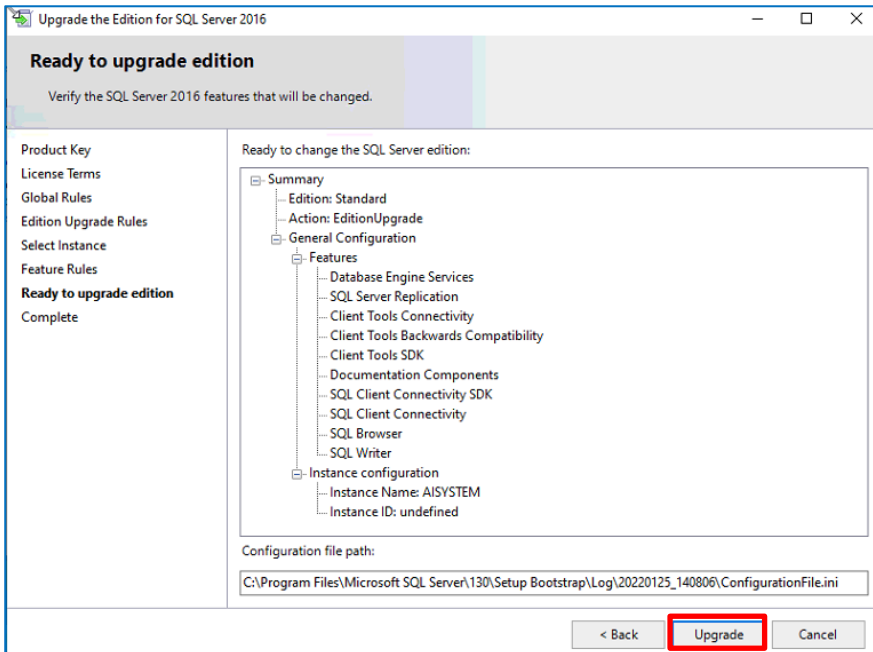
STEP5

[AISYSTEM] を選択して[Next]をクリックします。



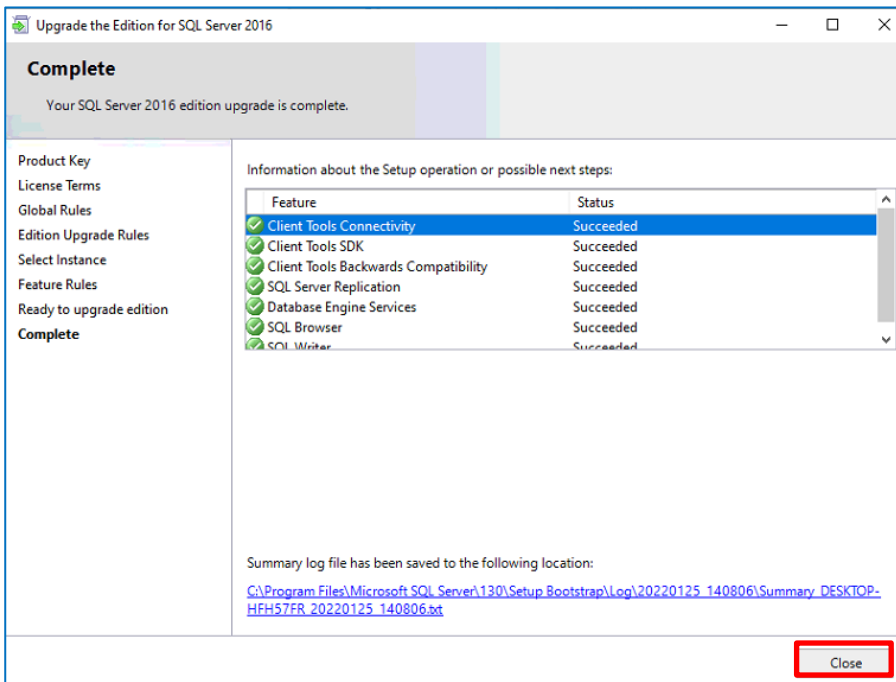
STEP6

[Upgrade]をクリックします。



STEP7

[Close] をクリックします。



6. トラブルシュート

6.1. インストール・初期設定時

現象	原因・対策	参照
SQL サーバーのインストールに失敗する	過去に使用したデータが残っている可能性があります。 手順にしたがってアンインストールを行ってから、インストールしてください。	5.4.2
	インストールを実行するファイルパスが 120 文字以下であることと、管理者として実行しているかどうかを確認してください。	4.1.1
	Window 10 バージョン 20H2、及び Microsoft Edge ブラウザー バージョン 84.0.522.52 ~ 86.0.622.55 をご使用の場合、ブラウザーのバージョンアップを行ってください。 参考. https://docs.microsoft.com/en-us/troubleshoot/sql/install/error-set-up-update-instances	
	"-2067919934"エラーでインストールに失敗した場合、PC 再起動後もインストールに失敗した場合は、 "%03_SQL%SQLEXPRAVDV_x64_ENU%1033_ENU_LP%x64%Setup%SQLSUPPORT.MSI"を実行してください。 その後、再度インストーラ (MultiAIStartup.exe) を実行してください。	
WV-ASA100 の設定画面にアクセスできない	" <a href="http://<ip>:8092">http://<ip>:8092 " にアクセスしている可能性があります。 " <a href="https://<ip>:8092">https://<ip>:8092 " にアクセスしてください。 インストール時に別のポート番号を設定した場合は、その番号を使用してください。	4.1.2.1
	対応している WEB ブラウザーは Microsoft Edge 85 以上、Chrome 83 以上 Firefox 95 以上です。	3.2
	WV-ASA100 がインストールされている PC で、以下のサービスが起動しているかどうか確認してください。 スタート - Windows 管理ツール - サービス "MultiAICameraService", "MultiAISupportProcessManagementService" "SQL Server(AISYSTEM)" 停止している場合、右クリックで開始を実行してください。	5.6.1

現象	原因・対策	参照
WV-ASA100 の設定画面にログインできない	管理者の認証情報を忘れた場合は、WV-ASA100 がインストールされている PC でリセットする必要があります。	5.7
レコーダーを登録できない	IP アドレス、ポート、認証情報が正しいことを確認してください	4.1.2.3
カメラを登録できない	IP アドレス、ポート、認証情報が正しいことを確認してください	-
	予め、カメラに機能拡張ソフトウェアがインストールされているかどうか確認してください。	-
	予め、カメラがレコーダーに登録されているかどうか確認してください。	-
	カメラの認証方式設定が Digest 認証設定になっているかどうか確認してください。([設定] - [ユーザー管理] - [ユーザー認証])	-
WV-ASE335 から顔、人物、車両画像が検索できない (登録したカメラが検索対象カメラに表示されない)。	カメラ登録はレコーダーへのカメラ登録、及び WV-ASM300 へのレコーダー登録のあとに行う必要があります。WV-ASA100 にカメラを登録したあとで、レコーダーへカメラを追加した場合は、WV-ASA100 へのカメラ登録を再度実施してください。(一度削除を行い、再登録してください)	5.2.1 5.1.1
WV-ASE335 から顔、人物、車両画像が検索できない (検索結果が 0 件になる)。	各カメラからのデータ受信状況を WV-ASA100 設定画面から確認可能です。カメラとの接続状態や、最終データ受信日時を確認してください。	4.1.8.1
	カメラの機能拡張ソフトウェアのスケジュール設定が正しく行われているか確認してください。	
	WV-ASA100 のソフト稼働状態を確認し、停止している場合は開始してください。	4.1.8.2
	複数の複数ネットワーク環境の構成の場合、WV-ASA100 のローカル側ではないネットワークにカメラが接続されていないか確認してください。	-
	ファイアウォールによるアプリケーションの許可設定で、本ソフトウェアのプログラムが登録されていることを確認してください。	-
カメラ名やアプリ名などが WV-ASE335 で正しく表示されない	カメラやアプリの設定が変更されていないか確認してください。 変更があった場合は WV-ASA100 をアップデートしてください。	5.3
WV-ASE335 の設定画面から WV-ASA100 の接続テストが失敗する	IP アドレス、ポート、認証情報が正しいことを確認してください。 ポート設定は WV-ASA100 設定画面から確認することができます。	4.1.5.2 4.2.2

現象	原因・対策	参照
映像の再生時間が正しくない	WV-ASA100 をインストールした PC とレコーダーの時刻が同期しているかどうか確認してください。	-
マルチ AI イベントモニターの「ライブ」にアラームが表示されない	WV-ASA100 設定画面の診断機能で、アラームが発生しているかどうかを確認して下さい。アラームが発生している場合、WV-ASA100 のソフト稼働状態を確認してください。	4.1.8.3
	アラーム受信ポート番号が正しく設定されていることを確認してください。WV-ASA100 の通知先に設定しているポート番号は設定画面から確認可能です。WV-ASE335 の設定は WV-ASE335 の環境設定から確認してください。	4.1.6

6.2. 運用開始後

運用開始後のトラブルシューティングのためのエラーコードは WV-ASA100 設定画面から確認することができます。(4.1.8.4)

現象	エラーコード	原因・対策
WV-ASA100 の設定画面のソフト稼働状態にプロセスが停止と表示される	514 - 517	WV-ASA100 のサービスが存在していません。正しくインストールされていない可能性があります。ソフトをアンインストール後、再度インストールを実行してください。
	1025 - 1028 4097 - 4100 4354,4357, 4610,4611	WV-ASA100 のプロセスの開始に失敗しました。手動で再起動を行ってください。(4.1.8.2 参照)。再度停止した場合、ログのダウンロードを行い(4.1.8.5 参照)、システム管理者へ連絡してください。
カメラとの接続が切断される	4355,4356,4358	カメラと WV-ASA100 のネットワーク接続を確認してください。 レコーダーに記録されている映像の再生が正しく動作するかどうかを確認してください。映像の再生に問題がある場合、カメラの状態を確認して下さい。 カメラの再起動と WV-ASA100 の再起動(4.1.8.2 参照)を行い、現象が改善しない場合は、ログのダウンロードを行い(4.1.8.5 参照)、システム管理者へ連絡してください。
WV-ASE335 から顔、人物、車両画像が検索できない(検索結果が 0 件になる)。	66052,66053	各カメラからのデータ受信状況を WV-ASA100 設定画面から確認可能です。カメラとの接続状態や、最終データ受信日時を確認してください。 カメラの機能拡張ソフトウェアのスケジュール設定が正しく行われているか確認してください。
検索結果に顔、人物、車両ではないものが表示される	-	誤検知を改善するためにはカメラの機能拡張ソフトウェアの取扱説明書にしたがって、マスクエリア等の設定を行ってください。

現象	エラーコード	原因・対策
WV-ASA100 の PC の CPU、メモリ、ディスクアクセスが高負荷になる	65793,65794 65796,65797	<p>PC 及び WV-ASA100 の CPU、メモリ使用量を確認してください。 (4.1.8.2 参照)</p> <p>WV-ASA100 の使用率が高い場合、負荷を小さくするためにカメラの機能拡張ソフトウェア設定でマスクエリアの設定を行うことで検知数を小さくする、または WV-ASA100 設定画面から[カメラからの最大データ受信頻度 (毎秒)]を小さい値に設定してください。 4.1.5.4 参照)</p> <p>WV-ASA100 の使用率が小さく場合、PC 全体の負荷が高い場合は、他にインストールされているソフトウェアによる影響を確認してください。</p>
データ保存ドライブの最大使用量(GB)に到達する	65795	<p>保存するデータが[データ保存ドライブの最大使用量(GB)]に設定したサイズを超えた場合、古いデータが自動的に削除されます。</p> <p>[保存期間]で設定した期間、保存する必要がある場合は、カメラの検知数を少なくするため、カメラの機能拡張ソフトウェア設定でマスクエリアなどの設定を行ってください。</p>
WEB 設定ページの表示がずれている	-	WEB ブラウザーのキャッシュをクリアし、WEB ブラウザーを閉じ、再度アクセスしてください。

7. その他

7.1. オープンソースソフトウェア

本ソフトウェアの一部はオープンソースソフトウェアを使用しています。ライセンスに関する詳細は、インストーラに同梱されている `license.txt` を参照ください。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

i-PRO株式会社
<https://www.i-pro.com/>